Konica

IMAGEFIT 3 FOR RX-3

アプリケーションソフトウェア

取 扱 説 明 書

（ 第 一 版 ）

コニカ株式会社

このマニュアルは将来にわたって読むため大切に保管してください。

マニュアルをお読みになる前に

この度はIMAGEFIT 3 For RX-3 をお買いあげ頂きましてありがとうございます。
IMAGEFIT 3 For RX-3はKonica Film Scanner RX-3から写真フィルム画像データを読み取り、デジタル変換し、保存／プリントするためのアプリケーションソフトです。
ご使用の際には本マニュアルを良くお読みになり正しくご使用くださるようお願いいたします。

おことわり

● マニュアル内容の全部または一部を無断で複写／転載する事を禁止します。
● マニュアル内容、ソフトウェアの仕様、および周辺機器のモデルは将来予告無しに変更することがあります。
● 当社指定機器以外の接続及びソフトウェアの使用によるトラブルについては一切の責任を負いません。

複製禁止事項

Konica Film Scanner RX-3を使って読み取り複製したものには、その複製物を所有するだけでも法律によって罰せられるものがありますので充分にご注意ください。

1. 法律で禁止されているもの

○ 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
○ 未使用の郵便切手、官製ハガキ
○ 政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規定されている証紙類

(関連法律)

● 通貨及び証券模造取締法
● 外国に於て流通する、貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造及び模造に関する法律
● 郵便切手類模造取締法
● 印紙等模造取締法
● 紙幣類似証券取締法

2. 注意を要するもの

○ 株券、手形、小切手などの民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数を複製する以外は、政府指導によって注意を呼びかけられています。
○ 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手に複製しない方がよいと考えられています。

3. 著作権の目的となっているもの

○ 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、映画、図面、写真、画像などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するために複製する以外は禁じられています。

＊ Microsoft, WindowsおよびWindows NTは米国Microsoft Corporationおよびその他の国における登録商標です。
＊ Adobe,Photoshop, AcrobatReaderはAdobe System社の商標または登録商標です。
＊ その他の記載されている商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

ご使用になる前に

【機器設置・使用上での注意事項】

本装置をお使いになる前に、このマニュアルを良くお読みになってから作業をしてください。
本装置をお使いになる前に、重要関連項目を良くお読みになってください。

1. 本装置は写真などの原稿から、画像を読み取りデジタル変換し、保存／プリントするために使用されます。他の用途に使用しないでください。
   ＊ マニュアルはインストール後、[スタート]ー[プログラム]ー[Konica IMAGEFIT 3]ー[MANUAL_RX_J]を選択すると、Konica Application Software IMAGEFIT 3 For RX-3 取扱説明書が開けます。

2. 本装置はマニュアルに従って正しくお使いになることにより、安全でかつ最高の機能を発揮することが出来ます。

3. 個別のマニュアルは装置の側に常備して何時でもその注意事項や指示に従ってください。

4. 室温５～３５℃、相対湿度２０～８０％の環境で必ず使用してください。

5. 連続して長時間使用される場合は、１時間ごとに１０分程度休憩し、目を休ませてください。

6. モニターは明るい部屋で８０ｃｍ以上離れた位置でご使用ください。
   ただし、戸外の光や照明が画面に反射して見えるところでは使用しないでください。

7. 本製品（CD）は音楽用のＣＤではありません。音楽用のＣＤプレーヤーでの再生は絶対に行わないでください。

万一事故が発生したら……
① 機器の電源スイッチを切る
⬇
② サービス窓口へ連絡する

【製品／梱包材料の廃棄時注意事項】

製品廃棄時の注意事項

本製品は産業廃棄物対象品です
廃棄の際は、必ず許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼してください。

・廃棄の方法については、法規制、都道府県または市の条例、指導等に従ってください。

・本機搭載のパーソナルコンピュータは回収・再資源化がメーカーに義務づけられております。

・取外して回収、再資源化する際には、お近くのご契約メンテナンス会社までご連絡ください。

・取り外し時は必ず、メンテナンス技術者が行いますので、お近くのご契約メンテナンス会社に連絡してください。

梱包材料廃棄時の注意事項

・梱包材料の廃棄にあたっては、法規則、条例、指導等に従ってください。

・樹脂包装材料は産業廃棄物に相当するため、産業廃棄物処分許可業者に引き渡してください。

ー 目次ー

1. はじめにお読みください 1
   1.1 動作環境 2
   1.2 本アプリケーションの特徴 2

2. 接続とソフトインストール 3
   2.1 準備 3
   2.2 SCSI 機器の接続 3
   2.3 Konica Film Scanner RX-3 の設置 3
   2.4 IMAGEFIT 3 のインストール 5
   2.5 各種設定 8
      2.5.1 ディスプレイの設定 8
      2.5.2 タスクバー表示の変更 9
   2.6 アンインストール 10
   2.7 DIGITAL PROSSIMO でRX-3 を使えるようにする 12

3. 起動と終了方法 13
   3.1 準備 13
   3.2 IMAGEFIT 3 の起動 13
   3.3 IMAGEFIT 3 の終了 13

4. 機能の説明 14

5. 画像を取り込む 15
   5.1 基本的な取り込み方 15
   5.2 画像のカラーバランス／濃度バランス補正を行う 18
   5.3 カラー管理機能を使う 19
   5.4 繰り返し／パス／上下反転する 20
   5.5 駒ズレ／ケラレを調整する 21
   5.6 テンキーによる操作一覧 22
   5.7 スキャンモードの設定を変更する 23
   5.8 カラーチャンネルを設定する 24
   5.9 任意のカラー管理を登録する 25
   5.10 オフセットとキー変化率を変更する 27
   5.11 リバーサルフィルムのマウントの画像切り抜き 28

6. 取り込んだ画像を見る 29
   6.1 画像の選択／解除 30
   6.2 画像表示切り替え 31
      6.2.1 1駒／9駒／30駒表示 31
      6.2.2 リアルサイズ表示 32
   6.3 画像を回転する 33
   6.4 画像を削除する 34
   6.5 画像をコピーする 35
   6.6 画像を並び替える 36

7. 取り込んだ画像の画質調整をする 37
7.1 色調整、濃度調整 37
7.2 シャープネス、コントラストの調整 38

8. 取り込んだ画像を管理する 39
8.1 作業フォルダの説明 40
8.2 新規フォルダを追加する 40
8.3 フォルダを削除する 41

9. 取り込んだ画像をメディアに保存する 42
9.1 基本的な操作方法 42
9.2 ファイルの種類の変更 44
9.3 一括でファイル名を変更したいとき 44
9.4 個別でファイル名を変更したいとき 45

10. 取り込んだ画像をプリントする 46

11. Photoshop で画像を加工する 47

12. その他の設定 49
12.1 ビュアー画面でのカラー補正率／モニター色調整変更 49
12.2 ハードディスクチェック容量設定変更 50
12.3 フォトショップ起動パス変更 51

13. トラブル対応 52

14. 制限事項について 56

15. 保守点検 57

1. はじめにお読みください

IMAGEFIT 3 のご使用の前に以下を確認してください。

(1) 本アプリケーションはKonica Film Scanner RX-3 をご購入された際に、画像を取り込むことを目的として提供されるものです。それ以外の目的に使用することはできません。

(2) インストールにより作成されたファイルやフォルダ、Windows のシステムファイル等の移動削除等は行わないでください。正常に動作しなくなります。

(3) 不正終了によりアプリケーションやデータが破損する場合があります。必ず正規の手順で終了してください。

(4) 本アプリケーションソフトのインストール時には、ウィルスチェックソフトなどを一時的に常駐から解除してください。

(5) 本アプリケーションソフト及び本マニュアルはライセンス所有者に対して供給されております。
また、本マニュアルの内容、アプリケーションソフトの仕様および周辺機器のモデルは、将来予告無しに変更される場合がありますので予めご了承ください。

(6) 当社指定機器以外の接続およびソフトウエアの使用によるトラブルについては一切の責任を負いません。

1.1 動作環境

本アプリケーションは、以下のシステム環境で動作が確認されています。
それ以外の環境でご使用された場合、動作しない可能性がありますので予めご注意ください。

【動作環境】

オペレーティングシステム	Windows95(OSR2.1 以上) ※1 Windows98 Second Edition Windows NT4.0(SP6 以上) ※2 Windows 2000(SP2 以上) Windows XP Professional（Home Editionでは未確認）
CPU	300MHz以上のCPU を推奨 intel Pentium /Celeron ファミリー、AMD K6 /Athlon /Duron ファミリーまたは互換性のあるCPU ※3
メモリ	128MB以上のRAM
ハードディスク	インストール時：100MB 以上の空き容量 基本操作時：5GB 以上を推奨※4
SCSIアダプタ	Adaptec 社製 AHA-2940 / 2940U / 2940AU / 2940UW / 2940U2W / 2930U / 2930CU / 29160N
ディスプレイ	XGA(1024×768)以上、65536 色対応のディスプレイアダプタを推奨

※1 Windows95 をご使用の場合には、Internet Explorer4.01 SP2 以上をご使用ください。
※2 WindowsNT4.0 を使用する場合は、Adaptec 社製ASPI レイヤーが必要です。
詳しくは、Adaptec 社のホームページをご覧ください。
※3 NEC PC-98XX シリーズには未対応です。
※4 ハードディスク容量の空きが少ない場合は、5GB以上のハードディスクの増設を推奨します。

1.2 本アプリケーションの特徴

本アプリケーションでは、以下のような特徴があります。

(1) Konica Film Scanner RX-3 を用い、写真フィルムから画像データを高速に取り込むことが出来ます。

(2) Konica Film Scanner RX-3 から取り込んだ画像データを表示して管理することが出来ます。

(3) Konica 独自のカラーマネージメントにより、フィルム間の差異を軽減するようなデジタルワンチャンネル処理を搭載しており、取り込まれた画像データを高画質で綺麗な色再現（s-RGB近似）にします。

(4) 取り込んだ画像各種のデータ形式(JPEG、TIFF、BMP、PICT)に変換して、簡単に保存することができます。

(5) プリンタが接続されている場合、プリント出力することができます。但し、別途プリンタ及びプリンタドライバが必要です。

(6) Photoshop がインストールされている場合、Photoshop に連携することができます。

2. 接続とソフトインストール

本アプリケーションは以下の方法に従ってインストールします。
(1) SCSI ボードの準備と接続
(2) Konica Film Scanner RX-3 の設置
(3) IMAGEFIT 3 for RX-3 のインストール

2.1 準備

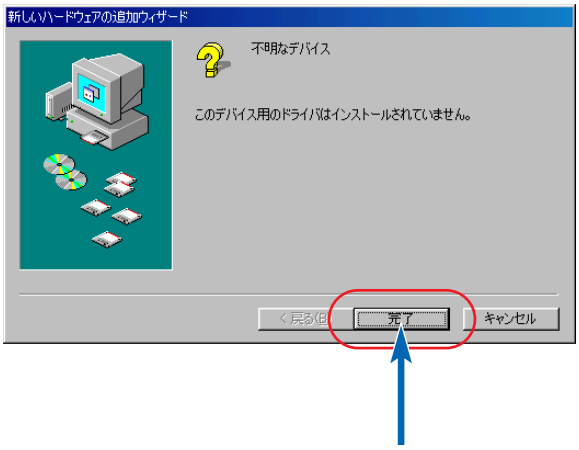
Konica Film Scanner RX-3 はSCSI(スカジー)を用いて、画像を受け取ります。本アプリケーションをインストールするにあたり、以下のものを別途準備していただく必要があります。
SCSI ボードは、「1.1 動作環境」をご覧になって、動作確認済みのものを準備してください。
・SCSI ボード
・SCSI ボード用ドライバ
・SCSI ケーブル

2.2 SCSI 機器の接続

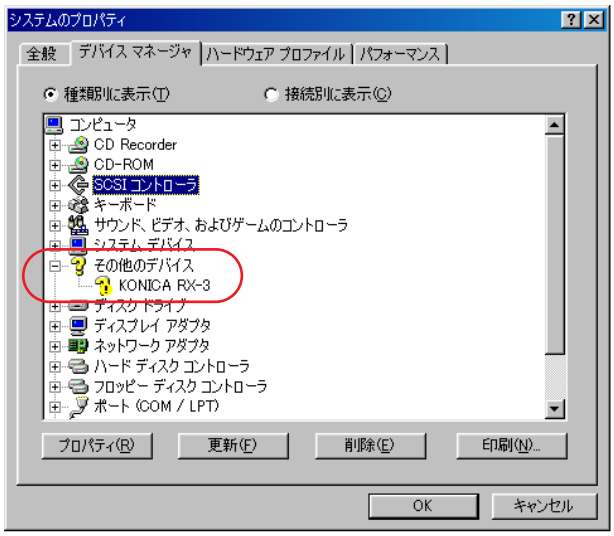
Konica Film Scanner RX-3 を接続する前に、SCSI ボードをお持ちのコンピュータに接続して、使用できる状態にします。
※SCSI ボードの接続は、ご購入のメーカーの手順書に従って行います。

2.3 Konica Film Scanner RX-3 の設置

(1) Konica Film Scanner RX-3 の接続には、「Konica Film Scanner RX-3」の取扱説明書、「接続する」の章 (P.10～12)に従い設置します。
(2) Konica Film Scanner RX-3 の電源を入れてから、コンピュータ の電源をONにします。
その後、Windows が起動したら、「新しいハードウェアの追加ウィザード」がでます。
最後まで［次へ］で送ります（最後に［完了］がでます)。



(3) Windows 画面が表示されたら[スタート]ー[設定]ー[コントロールパネル]を開き、［システム］を開きます。［デバイスマネージャ］で以下の画面を確認します。
「？その他のデバイス」に、「KONICA RX-3」が表示されていればOKです。



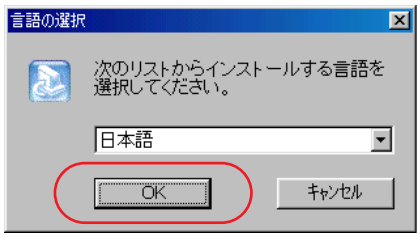
2.4 IMAGEFIT 3 のインストール

以下の手順に従って、本アプリケーションをインストールします。
Windows のオペレーティングシステムによりインストール方法が多少異なりますのでご注意ください。

【注意事項】
・ インストールには約100M B以上の空き容量が必要です。不足している場合には予め100MB 以上空けてください。
・ 本アプリケーション以外のプログラムは全て終了してください。

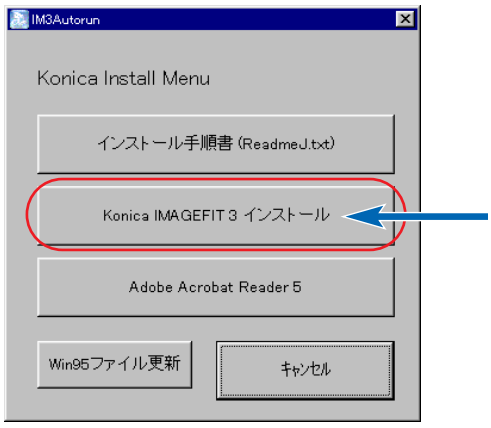
(1)「IMAGEFIT 3」のCD をセットします。

(2) セットすると自動的に「言語選択」の画面が表示されますので「日本語」を確認して「OK」ボタンをクリックします。

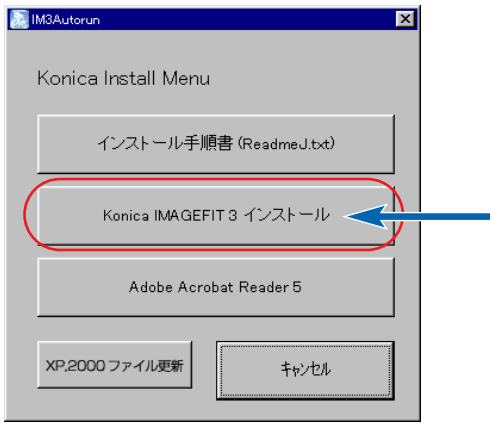


(3) 以下の画面が表示されます。「Konica IMAGEFIT 3 インストール」ボタンをクリックするとインストーラーが起動します。この時ＯＳにより画面が異なりますのでご注意ください。

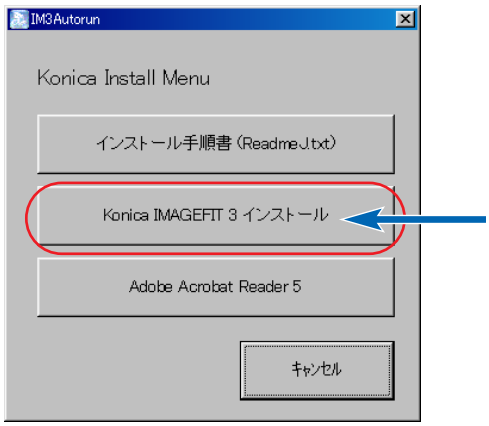
【Windows 95の画面】



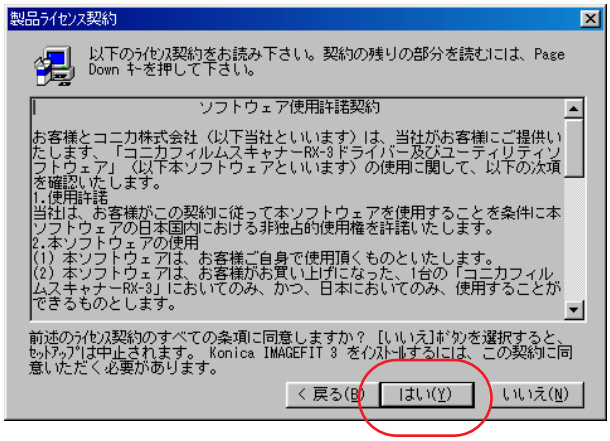
【Windows 2000/XP の画面】



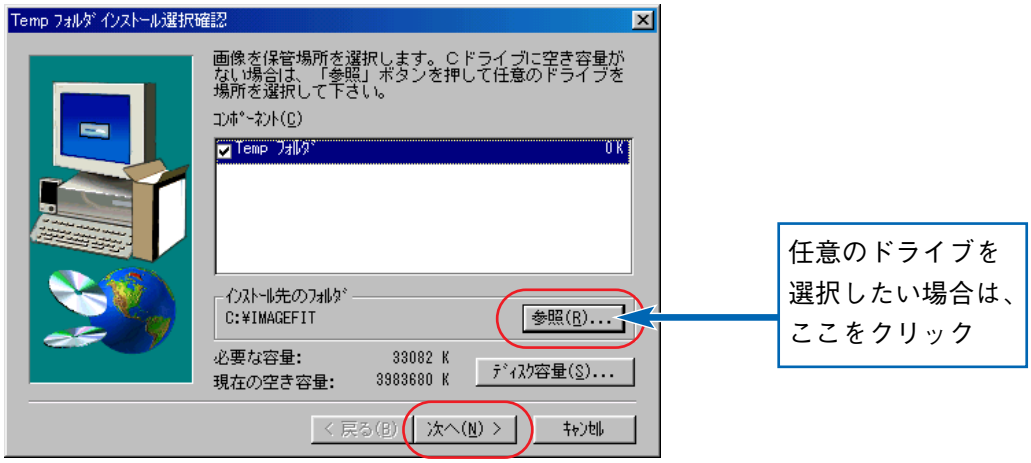
【Windows 98/NTの画面】



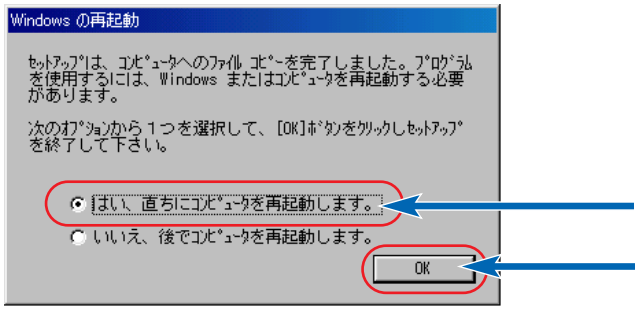
(4) インストーラーが立ち上がり、以下のような画面が表示されますので、「同意する」にチェックをして「はい」ボタンをクリックします。



(5) 次に画像を保管する場所を指定します(画面でTEMP というフォルダがそれに相当します)。
通常Cドライブで問題ありませんが、Cドライブに空き容量がない場合など、その他のドライブにすることが可能です。その場合、「参照」ボタンをクリックして任意の場所を選択します。「次へ」をクリックするとインストールを開始します。



(6) 最後に、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」をクリックし再起動してください。
尚、Windows 98のお客様はここで終了ですが、それ以外のお客様は、(7)へ進んでください。

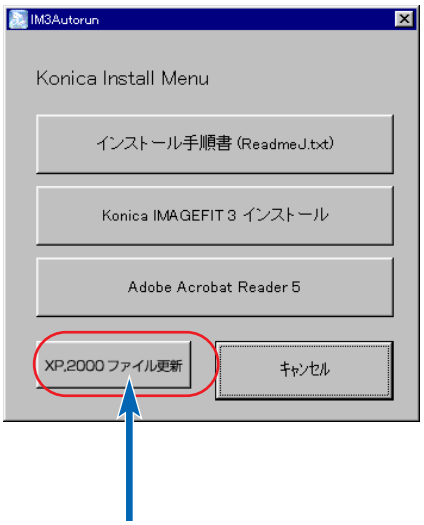


(7) コンピュータ再起動後、一度CD を抜き、再度セットしてください。以下のようにメニュー画面が表示されます。ここで、Windows 95 のお客様は(8)へ進み、Windows 2000／XPのお客様は(9)へ進んでください。
また、Windows NTのお客様は、(10)へ進んでください。

(8) Win95 ファイル更新
Windows 95 をご利用のお客様は、以下のように「Win95 ファイル更新」ボタンが表示されます。
インターネットエクスプローラ4.0SP1 以上であることをご確認の上、「Win95 ファイル更新」をクリックしてファイル更新を行います。インストーラーが起動してファイルを更新します。

【注意】
ファイル更新を行わなかった場合、
動作が不安定になることがあります。

(9) Windows 2000／XP のファイル更新
Windows 2000／XPをご利用のお客様は、以下のように「XP, 2000ファイル更新」ボタンが表示されます。ボタンをクリックしファイルを更新してください。



【注意】
ファイル更新を行わなかった場合、
スキャナが認識できません。

(10) Windows NT をご利用のお客様は、Adaptec(アダプテック)社のASPI レイヤーをインストールすることが必要です。
詳しくは、Adaptec社のホームページをご覧ください。

2.5 各種設定

この設定は、お客様の環境により異なります。必要に応じて設定します。

2.5.1 ディスプレイの設定

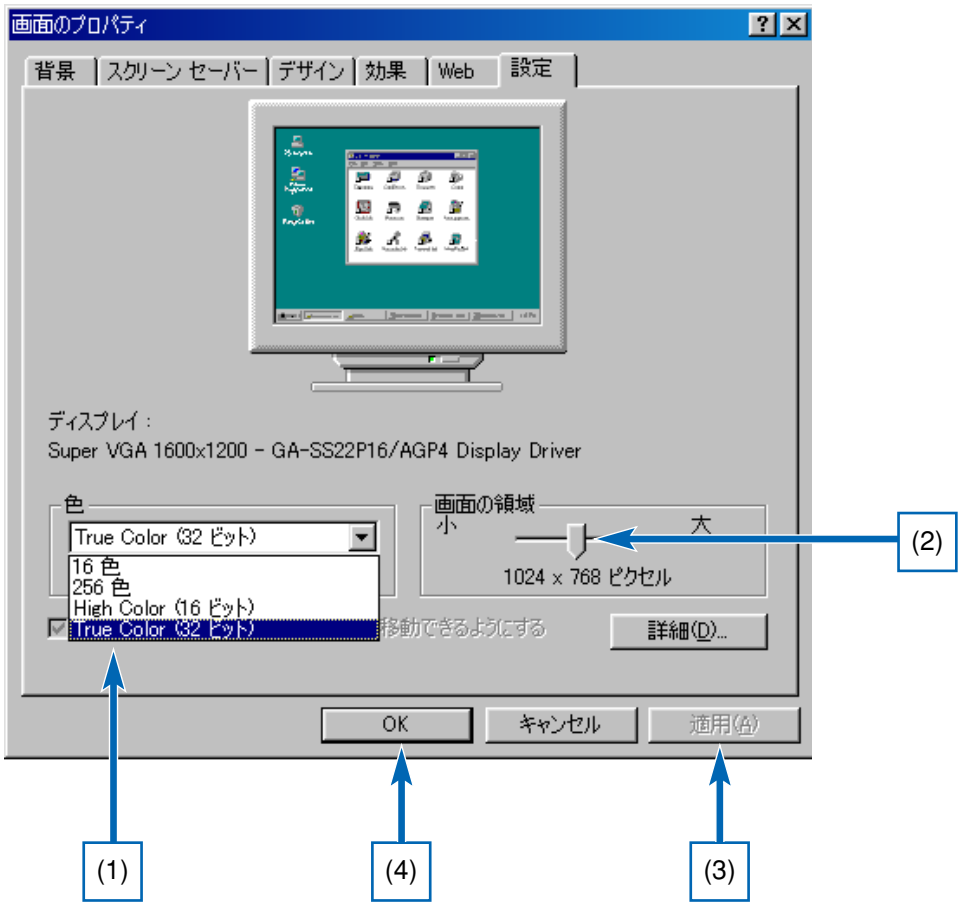
本アプリケーションでは、XGA（1024×768ピクセル）以上に対応したディスプレイアダプタでないと正常に表示されません。必要に応じての以下の設定を行います。
また、表示色はTrue カラーを推奨しております。

(1) ［スタート］―［設定］―［コントロールパネル］から［画面］をダブルクリックします。
［設定］を選択し［色］のところで「True Color (32ビット)」を選択します。
「High Color (16 ビット)」でも正常に動作しますが、グラデーションなどが綺麗に表現できないことがあります。

(2) 次に［画面の領域］のスクロールバーを「1024×768ピクセル」にあわせます。

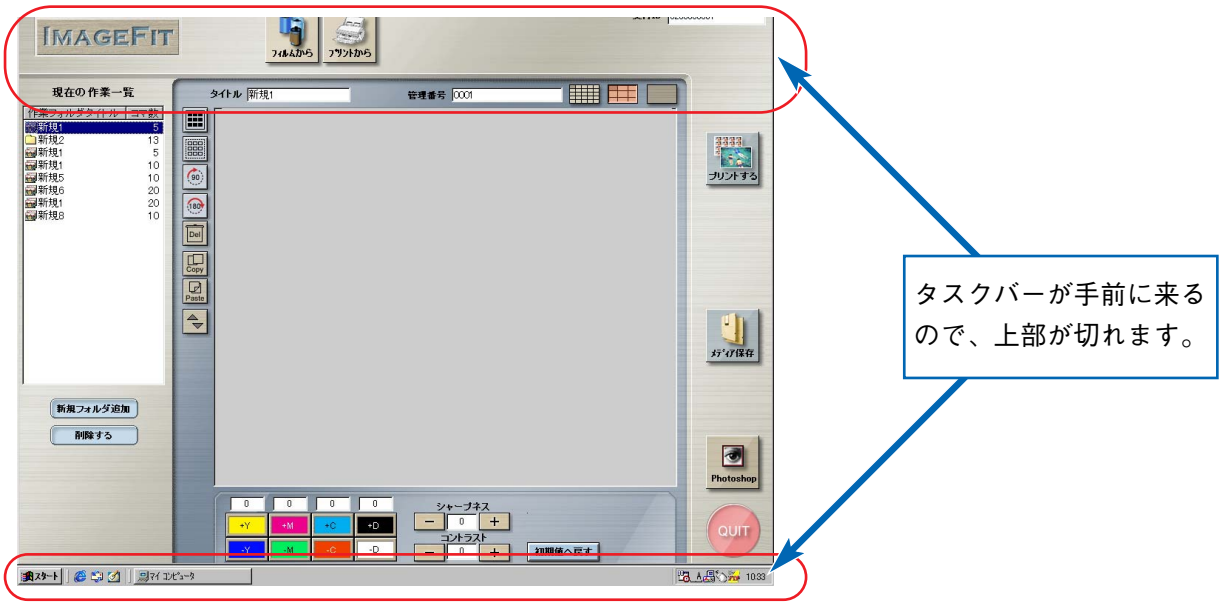
(3) ［適用(A)］ボタンをクリックして適用させます。

(4) ［OK］ボタンをクリックします。



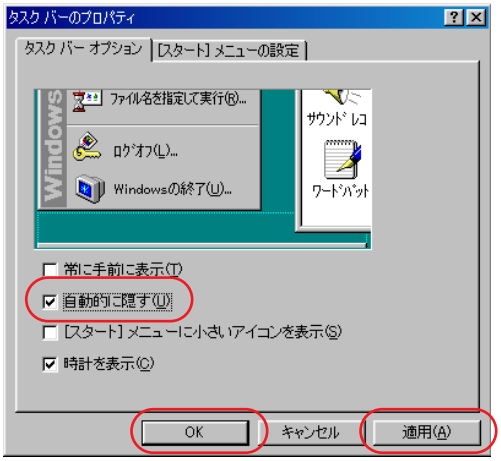
2.5.2 タスクバー表示の変更

本アプリケーションは、ディスプレイ画面の領域が1024×768 ピクセルでは、表示がスクリーン一杯になるので、タスクバーの表示を変更しないと、上部が切れてしまいます。以下の方法により変更します。



(1)　タスクバーのグレーの場所で右クリックし、［プロパティ］を選択します。

(2)　以下のような画面が現れますので、［自動的に隠す］のチェックをＯＮにして以下のような状態にします。[常に手前に表示]はON/OFF どちらでも構いません。



(３)［適用(A)］ボタンをクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

2.6 アンインストール

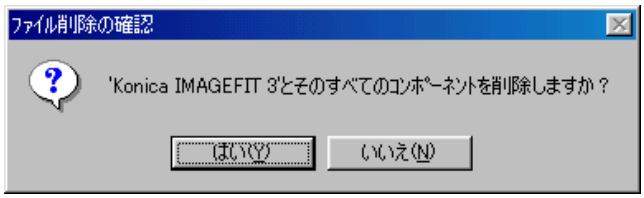
本アプリケーションをアンインストールしたい場合は、以下の方法で行います。
※以下の画面はWindows98 を元にして作製しています。その他のOSでは多少違いますのでご了解ください。

(1) デスクトップ画面の[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

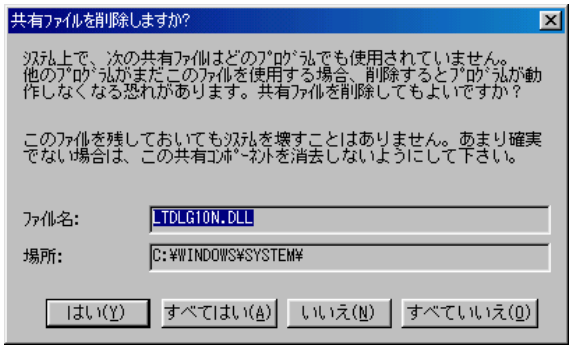
(2) [コントロールパネル]をダブルクリックし、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

(3) 以下のように[IMAGEFIT 3]をクリックして、[追加と削除]ボタンをクリックします。

(4) 以下のような画面がでます。[はい]をクリックします。次の画面も[はい]をクリックします。

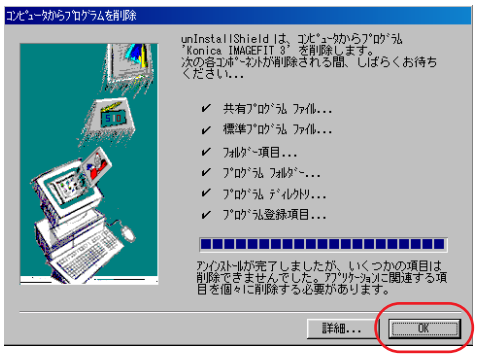


(5) 以下のように共有ファイルの削除について、聞かれますが、[すべていいえ]をクリックします。

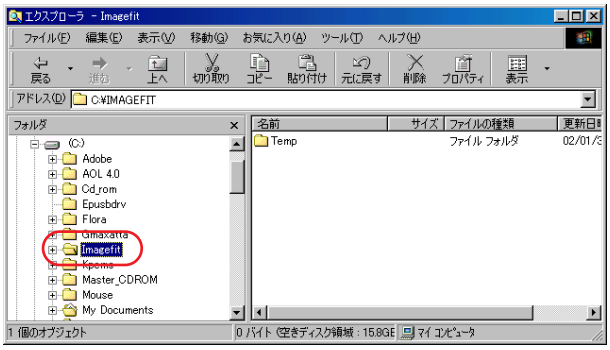


【注意】
「はい」又は「すべてはい」を選択した場合は、他のアプリケーションに影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

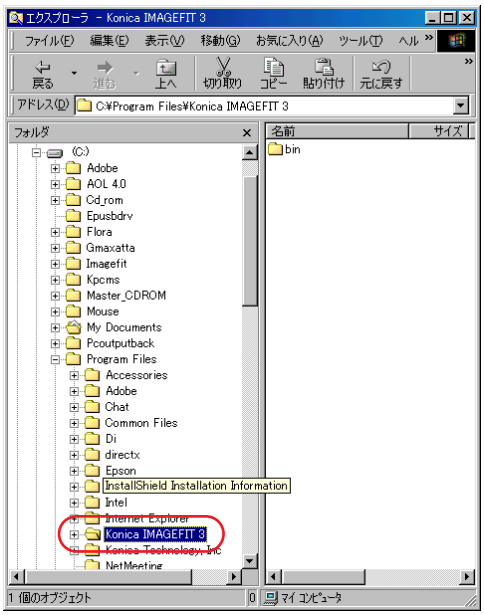
(6) 正常に終了すると、以下の画面がでますので、[ＯＫ]をクリックして次に進みます。



(7) 次に[スタート]―[プログラム]から[エクスプローラ]を選択します。
以下の２つのファイルフォルダを削除します。
１つは、Ｃドライブの[IMAGEFIT]フォルダです。フォルダを右クリックして、[削除]を選択します。
この時、色々なメッセージが出るときがありますが、すべて[はい]を選択します。



もう１つは、Ｃドライブの [Program Files] の [Konica IMAGEFIT 3]フォルダです。
フォルダを右クリックして、[削除]を選択します。

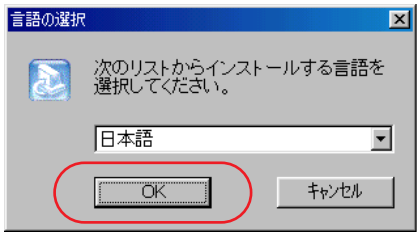


(8) 上記２つのフォルダを削除したら、コンピュータを再起動してアンインストールの終了です。

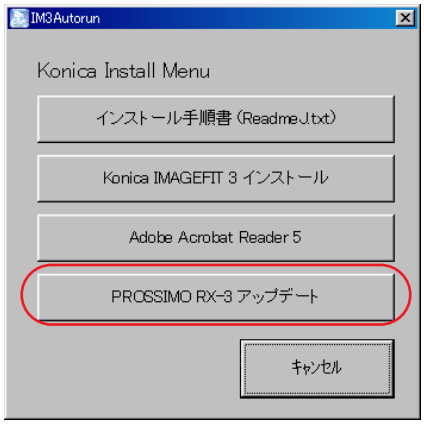
2.8 DIGITAL PROSSIMOでRX-3を使えるようにする

現在DIGITAL PROSSIMOをご利用のお客様は、RX-3を接続してもそのままご利用になることはできません。以下の操作方法により、RX-3を使用することができます。

(1) 「IMAGEFIT 3」のCD をセットします。
(2) セットすると自動的に「言語選択」の画面が表示されますので「日本語」を確認して「OK」ボタンをクリックします。



(3) DIGITAL PROSSIMOがインストールされていると以下のように「PROSSIMO RX-3 アップデート」ボタンが表示されます。「PROSSIMO RX-3 アップデート」ボタンをクリックします。



(4) 以下、メッセージ画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

(5) 以上でアップデートは終了です。

PROSSIMOアップデート後の新機能については、デスクトップ上にマニュアルが作成されますので(RX3_J.pdf)ファイルをご覧ください。

3. 起動と終了方法

3.1 準備

（1） 接続された周辺機器（プリンタ、スキャナーなど）の電源をONにします。

（2） コンピュータの電源をONにします。

3.2 IMAGEFIT 3 の起動

コンピュータのデスクトップ画面、

のアイコンをダブルクリックします。

IMAGEFIT 3 が起動します。

3.3 IMAGEFIT 3 の終了

IMAGEFIT 3 のビュアー画面（メイン画面）で、「QUIT」ボタンをクリックします。
また、コンピュータを長時間使用しない場合はIMAGEFIT 3 を終了した後、以下の手順でコンピュータの電源を落とすことをお勧めします。

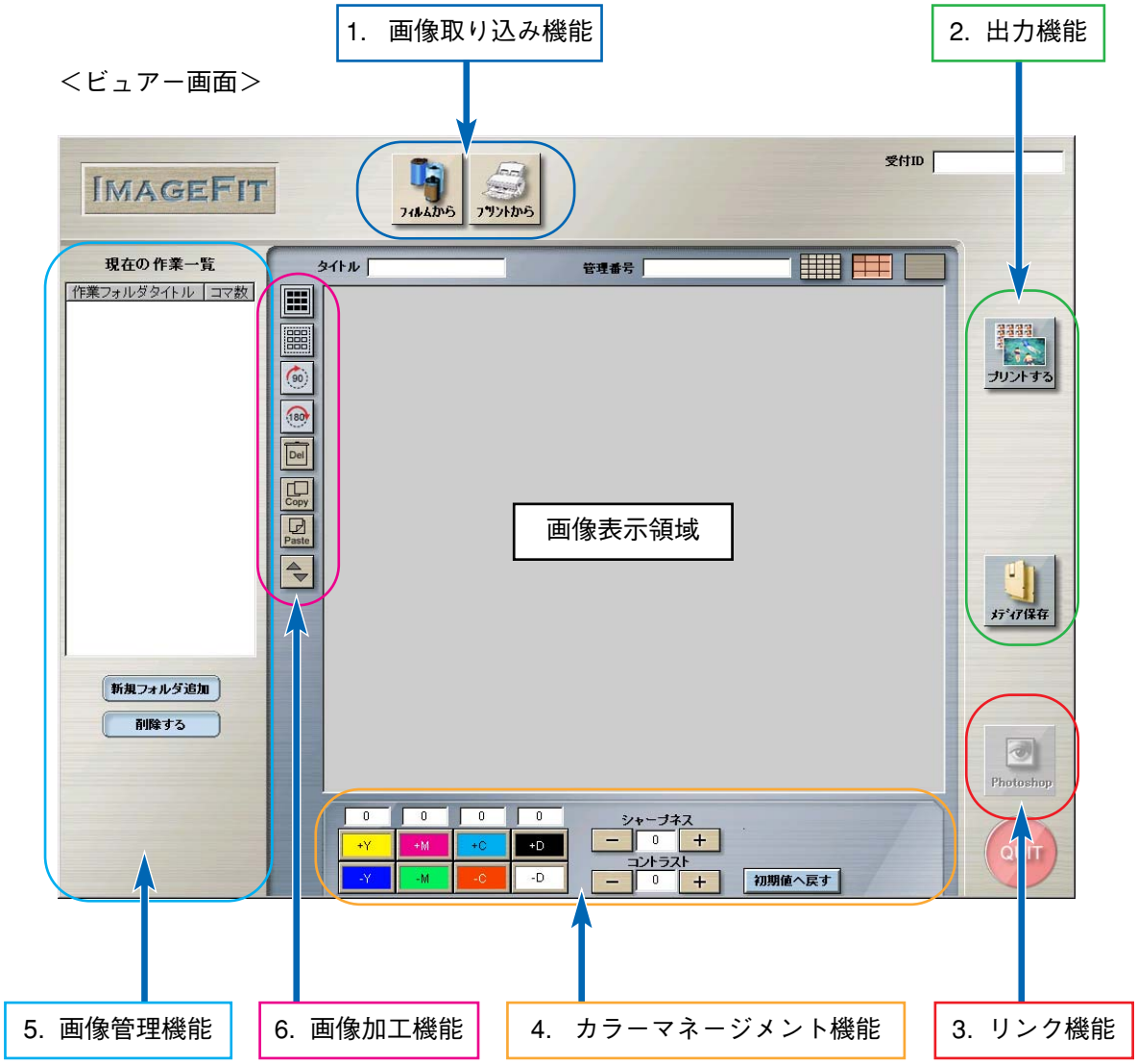
（1） IMAGEFIT 3 を終了します。(「QUIT」ボタンをクリックします)。

（2） コンピュータを終了し、コンピュータの電源をOFFにします。

（3） 周辺機器（プリンタ、スキャナーなど）の電源をOFFにします。

4. 機能の説明

ここでは、本アプリケーションの機能と操作についての説明を行います。
以下に示している画面がビュアー画面（メイン画面）です。この画面から全ての操作を開始します。
各ボタンの機能については以下の通りです。



1．画像取り込み機能……写真フィルムから画像を取り込むことができます。ACCELUCK スキャナーが接続されている場合は、「プリントから」というボタンも表示されます。
2． 出力機能……各メディアに保存することができます。
3． リンク機能 ……Photoshop がインストールされている場合、Photoshop にリンクすることが出来ます。
4．カラーマネージメント機能 ……ビュアー画面上で色補正や濃度補正、シャープネス・コントラスト調整などが出来ます。
5．画像管理機能……取り込んだ画像をフォルダとして管理することが出来ます。以前取り込んだ画像も保存されています。
6．画像加工機能……選択画像の全選択／全解除／回転／コピー／ペーストなどを行います。

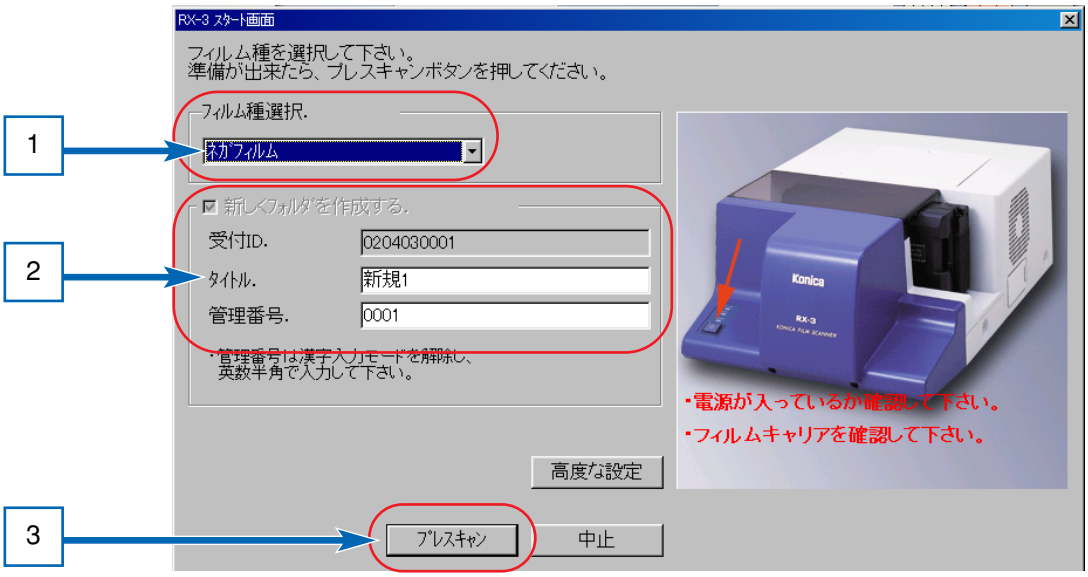
5. 画像を取り込む

本アプリケーションでは、フィルムスキャナRX-3を用い、フィルムから画像を取り込むことが可能です。
操作方法は以下の通りです。*尚、RX-1はご使用になれませんので予めご了解ください。*

5.1 基本的な取り込み方

(1) 目的のフィルムを準備し、RX-3の電源が入っているかどうか確認してください。電源が入っていない場合は、RX-3の電源を入れ、一度本アプリケーションを終了し、コンピュータを再起動してください。
(2) フィルムキャリア（135mm用／APS 用／マウント用）をセットしてください。
(3) [フィルムから]ボタンをクリックしてください。

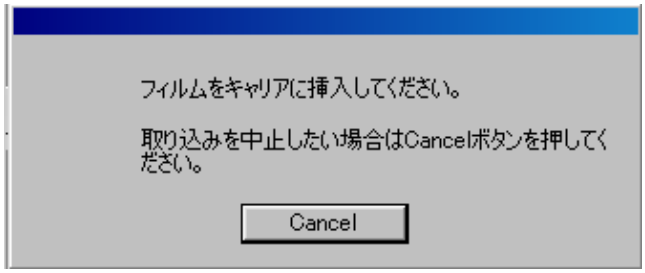
(4) 以下のような画面が現れます。



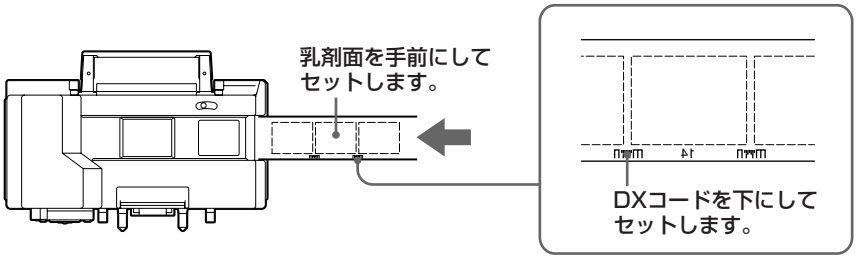
1. まず、フィルム種（ネガフィルム／リバーサルフィルム／モノクロ）を選択します。
2. 次に[タイトル]と[管理番号]を入力します。[タイトル][管理番号]は任意です。何も入力ない場合は、自動で作成されます。現在のフォルダに画像を入れたい場合は、[新しくフォルダを作成する]のチェックを外してください。
3. 準備ができたら、[プレスキャン]ボタンを押してください。

高度な設定は23ページ以降に説明します。

(5) 以下のような画面が現れます。フィルム方向を確認し、キャリアに挿入してください。
フィルムが挿入され、プレスキャンを開始します。



フィルムは図のように乳剤面を手前に駒ナンバーが鏡像となるように入れてください。

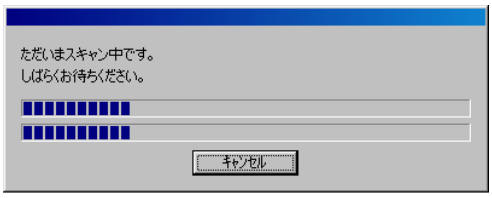


(6) プレスキャンが終了すると、以下のような 6 駒プレジャッジ画面が現れます。画像に変更がなければ、[SCAN]ボタンが有効になるまで(黄色くなるまで)[次へ]ボタンをクリックしてください。

【テクニック】キーボードも使用できます。[SCAN]または[次へ]はEnterキーでも行えます。

(7) 最終駒になると、以下のように[SCAN]ボタンが点灯(黄色)します。問題がなければ、[SCAN]ボタンをクリックして本スキャンを開始します。戻りたい場合は、[戻る]ボタンをクリックします。
中止したい場合は、[中止]ボタンをクリックします。

(8) 本スキャンを開始し、ビューア画面に戻ります。

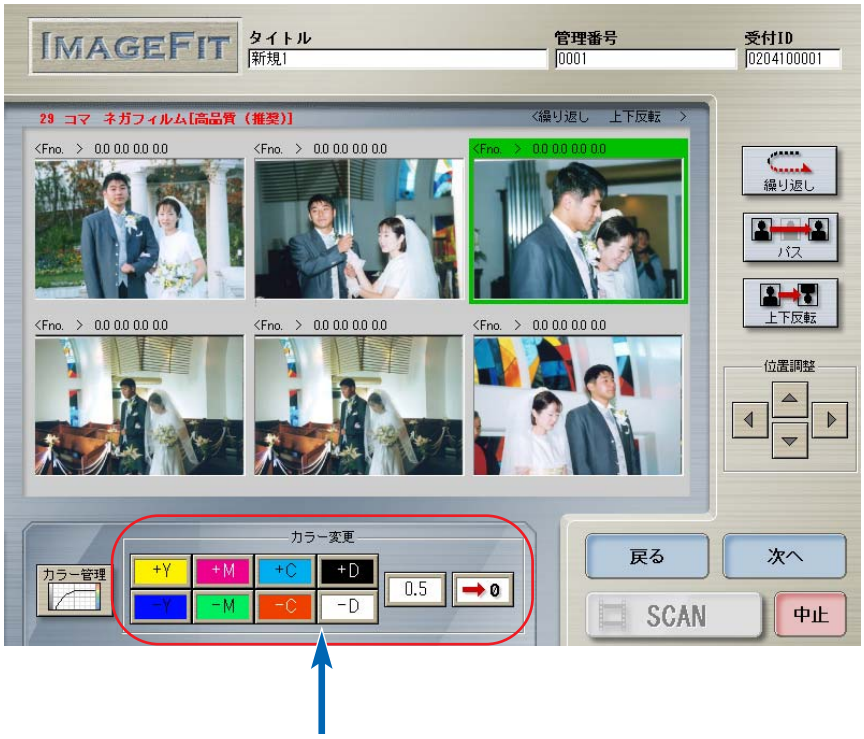


【注意】
但し表示途中で[キャンセル]ボタンをクリックすると、途中で画像が切れてしまうのでご注意ください。

これでスキャンニングは終了です。

5.2 画像のカラーバランス／濃度バランス補正を行う

RX-3画面では、プレジャッジの段階で画像のカラーバランス／濃度バランス調整が出来ます。そのデータに基づき本スキャンを行います。
カラーバランス補正をしたい場合は、画像を選択し、[カラー変更]の各種ボタンにより変更してください。



【ボタンの説明】

ボタン名	機　　能	ショートカットキー
＋Y／－Y ボタン	イエローバランスを±１変化させます。＊1	7 → 4 or 6
＋M／－Mボタン	マゼンタバランスを±１変化させます。＊1	8 → 4 or 6
＋C／－Cボタン	シアンバランスを±１変化させます＊1	9 → 4 or 6
＋D／－Dボタン	濃度を±１変化させます＊1	4 、 6
0.5ボタン	各ボタンを0.5刻みで変化させます。 １回押すとロックされ、もう１回押すと解除されます。	5
→ 0 ボタン	すべてが初期値になります。＊2	なし

＊1　カラーバランスは1回で10%、濃度バランスは1回で15%変化するよう設定されています。
　　このバランスを任意に変えたい場合は、21ページを参照してください。
＊2　カラー管理で変更した内容は初期値に戻りません。

【注意】
RX-3はスキャン方式の関係上プレスキャン画像が多少色ズレを起こすことがありますが、本スキャン画像には何ら影響有りません。

5.3 カラー管理機能を使う

カラー管理機能で、様々な調整が可能です。
画像を選択し、[カラー管理]ボタンをクリックします。必要に応じて調整し、[OK]ボタンをクリックします。

【カラー管理の内容】

機能名	内　　容
コントラスト	コントラストの強さを調整します。
シャープネス	画像の鮮鋭性を調整します。
アンダー補正	アンダーシーンを補正します。
オーバー補正	オーバーシーンを補正します。
逆光補正	逆光シーンを補正します。
ソフトフォーカス	ソフトフォーカスの強さを調整します。
色強調	色の彩度を調整します。
微粒子ファイン	画像の粒状性を調整します。

【テクニック】[繰り返し]ボタンと組み合わせることで全ての駒に適用することができます。

5.4 繰り返し／パス／上下反転する

必要に応じて、機能を繰り返したり、スキャニングをパスしたり、画像を反転することが出来ます。

【ボタンの説明】

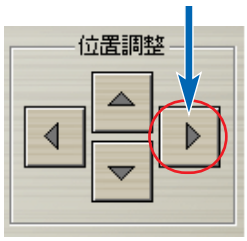
ボタン名	機　　能	ショートカットキー
繰り返しボタン	プレジャッジ画面の全ての機能を繰り返します。 選択した駒から以降を全て繰り返します。	0→9
パスボタン	選択した駒の本スキャンをパスします。	0→4　1駒パス 0→6　1駒パス解除 0→1　以降全てパス 0→3　以降全てパス解除
上下反転ボタン	選択した駒の上下を反転させます。	0→7

【テクニック】全ての駒が同じ間隔でズレていた場合、1つの駒を調整して[繰り返し]を押すと、すべての駒を調整しなくてよいので便利です。

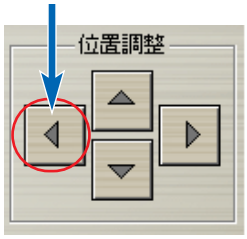
5.5 駒ズレ／ケラレを調整する

フィルムがアンダーシーンであったり、途中で素抜けの駒があると駒ズレを起こす可能性があります。また、上下のケラレ分を補正することもできます。その場合は以下のようにして補正します。

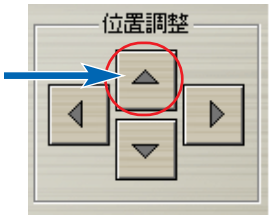
(1)右ズレの場合

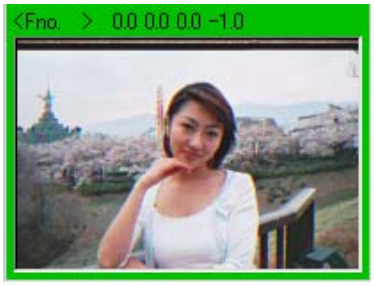


(2)左ズレの場合

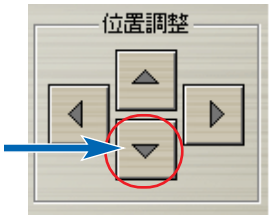


(3)上部をもっと入れたい





(4)下部をもっと入れたい

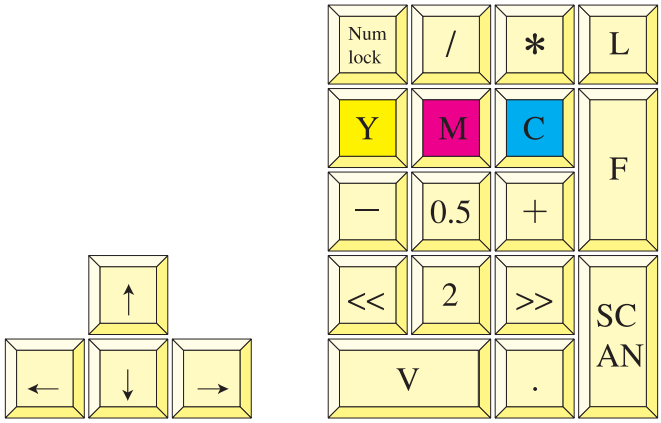


【テクニック１】全ての駒が同じ間隔でズレていた場合、１つの駒を調整して[繰り返し]を押すと、すべての駒を調整しなくてよいので便利です。
【テクニック２】キーボードの矢印キー（→←↑↓）を使うことも出来ます。

【注意】上下反転を使った後は、上記操作はすべて逆になります。

5.6 テンキーによる操作一覧

６駒プレジャッジ画面では、テンキーを用いて操作することが出来ます。
それぞれの機能は以下の表を参照してください。



【基本キーの説明】

キー	操　作	機能内容
＜＜　＞＞	1 または 3	選択画像を移動させる
― ＋	4 または 6	濃度を増減させる
０．５	5	0.5単位で増減させる
Y	7	Ｙ濃度にロックする
M	8	M濃度にロックする
C	9	Ｃ濃度にロックする
F	＋	異種光源で撮影されたシーンを補正する
L	―	極端なカラーフェリアシーンを補正する
ＳＣＡＮ	Ｅｎｔｅｒ	ＳＣＡＮまたは次へ送る
→←↑↓	→←↑↓	駒ズレを調整する

【V キーとの組み合わせ】

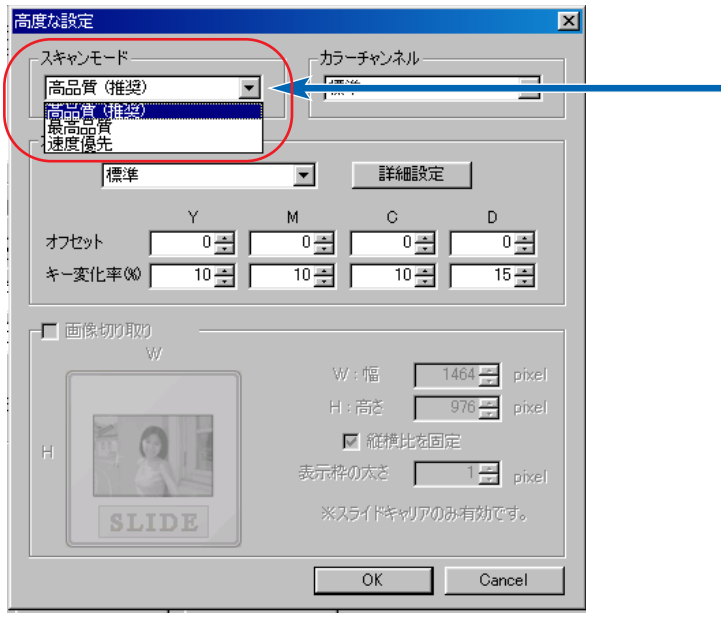
キー	操　作	機能内容
V ＜＜	０ → １	全駒パスさせます
V ＞＞	０ → ３	全駒パスを解除します。
V ＋	０ → ６	選択駒をパスします。
V ―	０ → ４	選択駒のパスを解除します。
V Y	０ → ７	選択駒の上下を反転させます。
V C	０ → ９	繰り返し
V SCAN	０ → Ｅｎｔｅｒ	中止

5.7 スキャンモードの設定を変更する

フィルムスキャナで画像を取り込む条件を変更できます。

(1) ビューア画面の[フィルムから]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。
「高度な設定」ボタンをクリックします。

(2) 以下のような設定画面が現れます。ここで、選択を切り替えることが出来ます。



スキャンモードでは、3種類のモードが選択できます。

モード	内　容	画像サイズ	取り込み時間(24 駒)
高品質	推奨モードです。デフォルトはこのモードになっています。	135mm　1536×1024 APS　1824×1024	3分00秒 5分30秒
最高品質	画質を優先したモードです。画像が大きいため、スキャニングするのに時間を要します。	135mm　3072×2048 APS　3648×2048	8分45秒 15分15秒
速度優先	画質よりも速度を優先にしたモードです。時間が速いのですが、画質が多少劣化します。	135mm　768×512 APS　912×512	2分30秒 3分20秒

5.8 カラーチャンネルを設定する

本アプリケーションでは、カラーチャンネルの設定は[標準]のみとなっています。

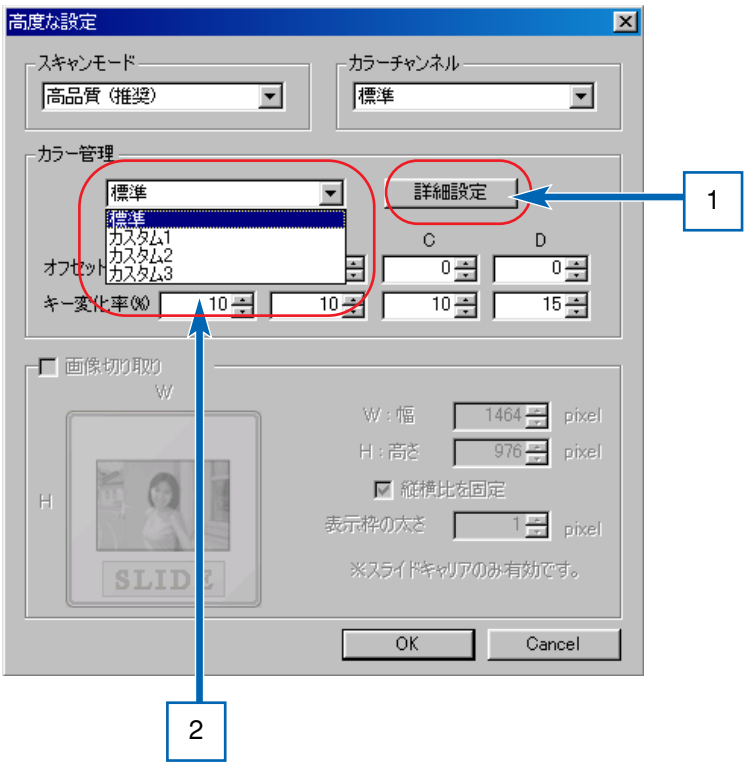
標準……ディスプレイで見たときに標準的な画像品質(sRGB 近似)に再現します。
出力する場合、sRGB対応のプリンターを用いると最適になります。

5.9 任意のカラー管理を登録する

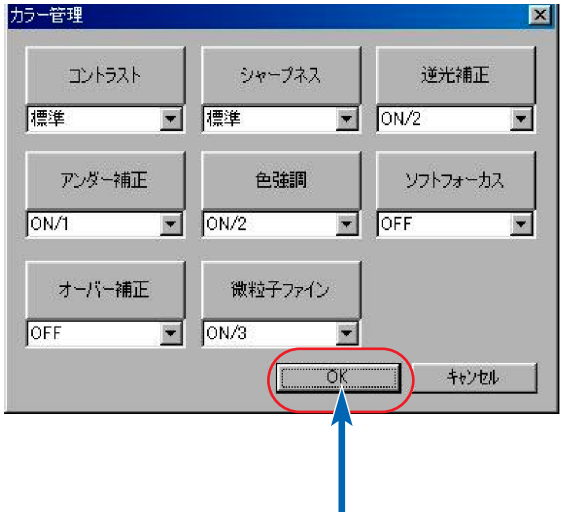
好みに応じて、カラー管理の値を設定し、登録することができます。以下の操作に従って設定を変更してください。

(1) ビューア画面の[フィルムから]ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。
「高度な設定」ボタンをクリックします。

(2) 以下のような設定画面が現れます。ここで、選択を切り替えることが出来ます。
カスタム１～３のいずれかを選択して、[詳細設定]ボタンをクリックします。
[標準]を選択したときは[詳細設定]は変更できません。



(3) 以下のような画面が表示されますので、好みに応じて各項目の調整を行ってください。
各項目の詳細は19ページを参照してください。
調整が決定したら[OK]ボタンをクリックします。
次回からこのモードで読み込むのでご注意ください。



5.10 オフセットとキー変化率を変更する

好みに応じて、オフセットとキー変化率を変更することができます。オフセットとは、取り込み画像全体の色味や濃度をシフトさせます。キー変化率とは、カラーボタンまたは濃度ボタンを１回押したとき変化する比率のことをいいます。

(１) ビューア画面の[フィルムから]ボタンをクリックし、そこで「高度な設定」ボタンをクリックします。以下のような画面が表示されます。

(２) [オフセット]、[キー変化率%]の値を変更して、問題がなければ[OK]ボタンをクリックします。
それぞれの詳細は以下の通りです。

【オフセットの変更】
通常、“０”の値が入っています。これの値を大きくするとＹ、Ｍ、Ｃ、Ｄの濃度が全体的に濃くなります。この値を小さくするとＹ、Ｍ、Ｃ、Ｄの濃度が全体的に薄くなります。値の目安は“４”動かせば、約１０％程増減します。例えば、Ｙ，Ｍ，Ｃ，Ｄの値に４，０，０，０と入力したとします。そうすると、イエローが約１０％程濃くなって表示されます。逆に-4、０，０，０と入力した場合は、イエローが約１０％程薄くなって表示されます。

【キー変化率の変更】
通常、カラーは１０％、濃度は１５％の値が入っています。この値を大きくすると１回に変化する濃度またはカラーバランスが大きくなります。逆に小さくすると１回に変化する値が小さくなります。例えば、Ｍの値を１０％から２０％に変更したとすると、１回で変化する量が今までの２倍になります。逆に５％にすると、今までの変化量と同じにするためには、２回押すことになります。
ただし、[フィルム種]をリバーサルとした場合、キー変化率はカラーバランスが３％、濃度バランス６％と、弱めに設定してあります。

5.11 リバーサルフィルムのマウントの画像切り抜き

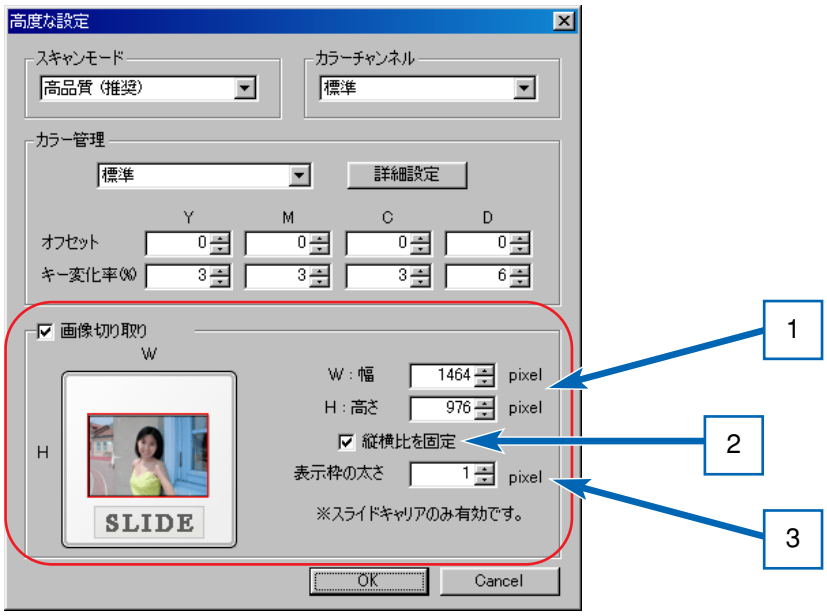
本アプリケーションでは、リバーサルフィルムのマウントを用いて画像を取り込む場合、画像の端に縁が入ることがあります。その際、画像の縁を切り抜くことが可能です。
【注意】 フィルム種を[リバーサルフィルム]とし、スライドキャリア使用時のみ有効となります。135フィルムキャリア、APSフィルムキャリアの場合は設定しても有効にならないのでご注意ください。

(1) [フィルムから]のボタンをクリックします。

(2) [リバーサルフィルム]を選択します。

(3) [高度な設定]ボタンをクリックします。

(4) 以下のような画面が表示されます。必要に応じて幅と高さを設定してください。



それぞれの機能は以下の通りです。
1) 幅と高さの設定
幅と高さを設定します。幅と高さの有効数字は以下の通りです。

スキャンモード	幅(pixel)	高さ(pixel)
速度優先	728～768	472～512
高品質	1456～1536	994～1014
最高品質	2912～3062	1888～2038

2) 縦横比固定
幅と高さの比率を固定して変化させます。
3) 表示枠の太さ
プレスキャン画面で表示するときの画像切り取り枠の太さを調整します。枠の太さは 1 ～ 3 pixel 単位で設定可能です。

(5) 設定が終了したら[ＯＫ]ボタンをクリックし、スキャンを開始します。

6. 取り込んだ画像を見る

本アプリケーションでは取り込んだ画像をフォルダ単位で管理し、表示することができます。
ビュアー画面上では、以下の操作が可能です。

【注意】1フォルダには最大400駒を保管することができますが、100駒を超えると極端に動作が遅くなることがありますので、1フォルダの目安は100駒までとしてください。

6.1 画像の選択／解除

ビュアー画面では、入力ボタンより画像を取り込むと、画像はすべて選択された状態(すべて赤枠が付いている)になっています。改めて選択する場合は、マウスで画像の上をクリックします。

[全駒選択画面]ボタン をクリックすると[全て選択]した状態、[全駒解除]ボタン をクリックすると[全て解除]した状態になります。
キーボード上で[Shift]キーまたは[Ctrl]キーを押しながらクリックすると複数選択出来ます。

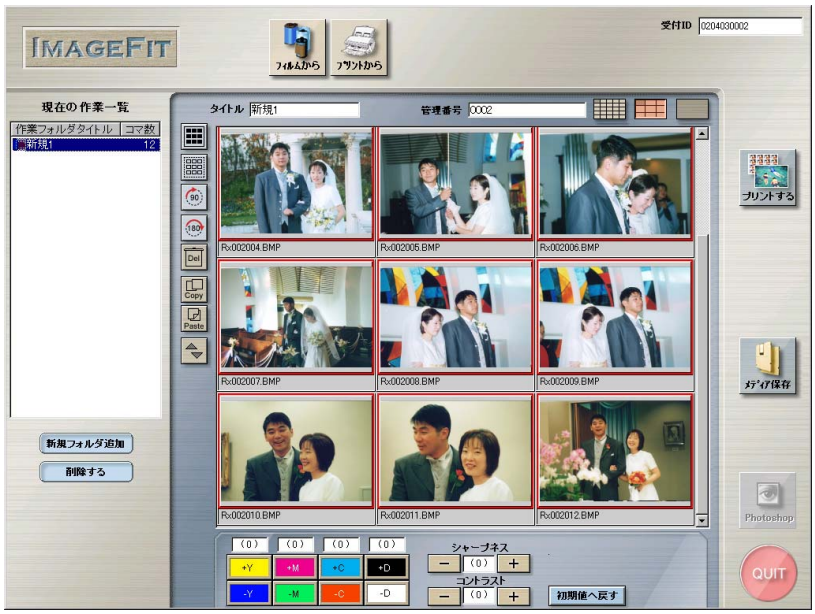
【テクニック】
画像にポインタを合わせ、右クリックをするとプルダウンメニューがでるので、[画像の全選択]／[画像の全解除]が出来ます。

6.2 画像表示切り替え

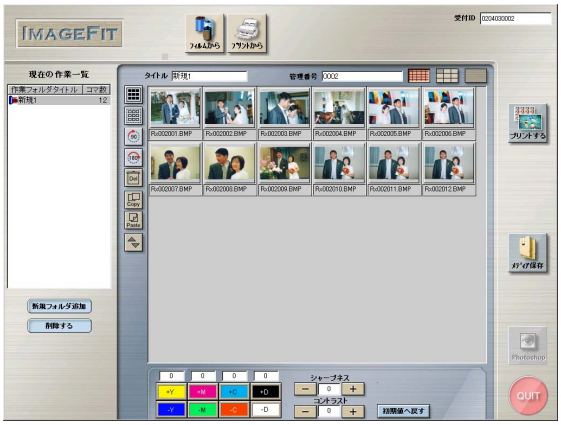
6.2.1 1駒／9駒／30駒表示

表示する画像数を切り替えることが出来ます。左から、30駒表示、9駒表示、1駒表示切り替えボタンです。
表示画像数よりも取り込み画像数が多い場合は右端にスクロールバーが表示されます。

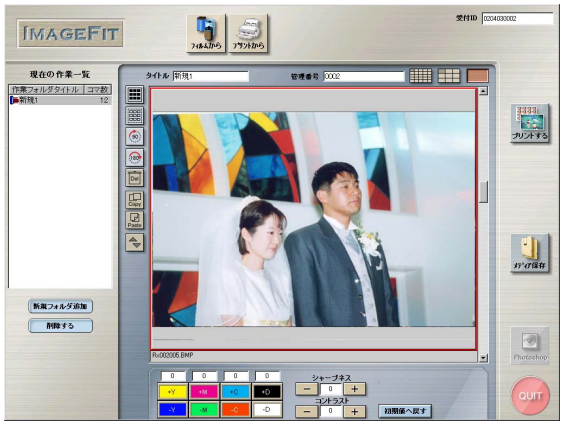
【9駒表示】…9駒単位で画像を表示します。



【30駒表示】…30駒単位で画像を表示します。



【1駒表示】…1駒単位で画像を表示します。

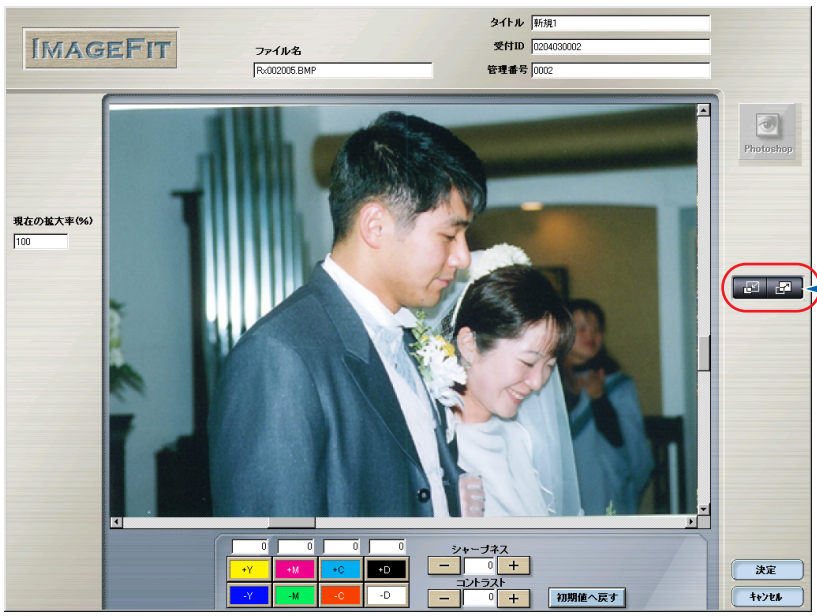


【注意】 ・１フォルダの画像数が多い場合は、画像表示に多少時間がかかることがあります。
・画像表示中はその他の操作は行わないでください。

6.2.2 リアルサイズ表示

画像をダブルクリックすると、選択した画像がリアルサイズで表示されます。

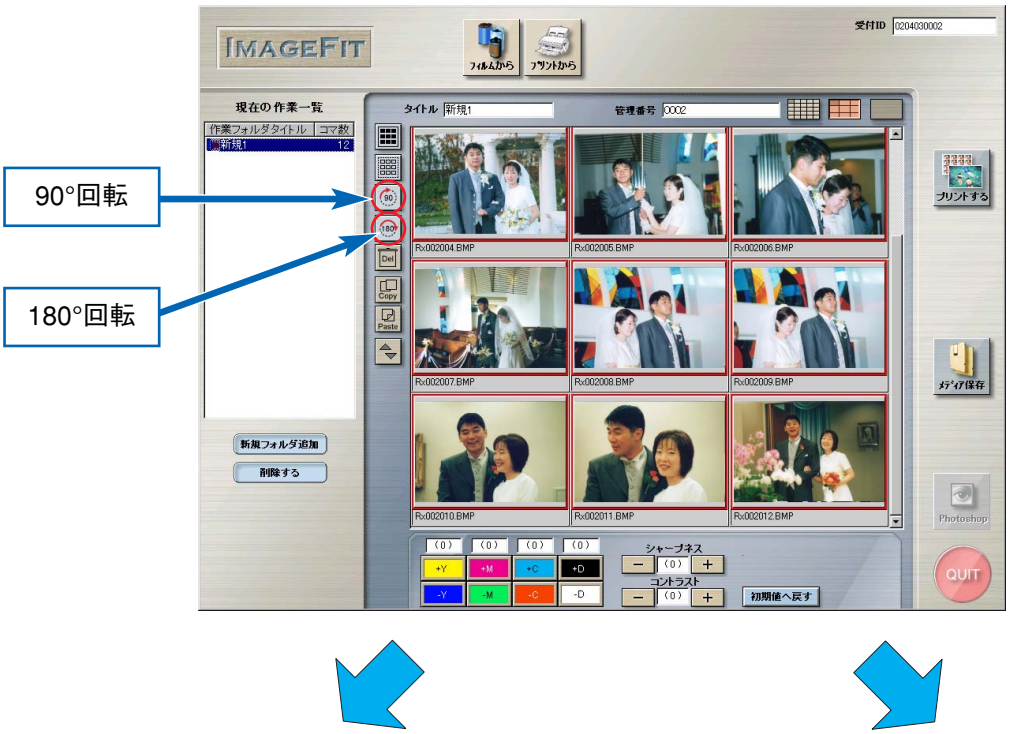
【リアルサイズ画像表示】



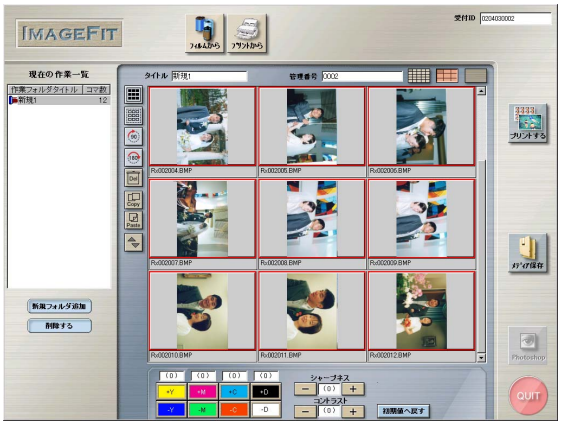
ここでは画像の拡大表示／縮小表示が可能です。

6.3 画像を回転する

90°回転または180°回転ボタンをクリックすると、選択した画像（赤枠付き画像）を回転することが出来ます。



【画像が90°回転した様子】



【画像が180°回転した様子】

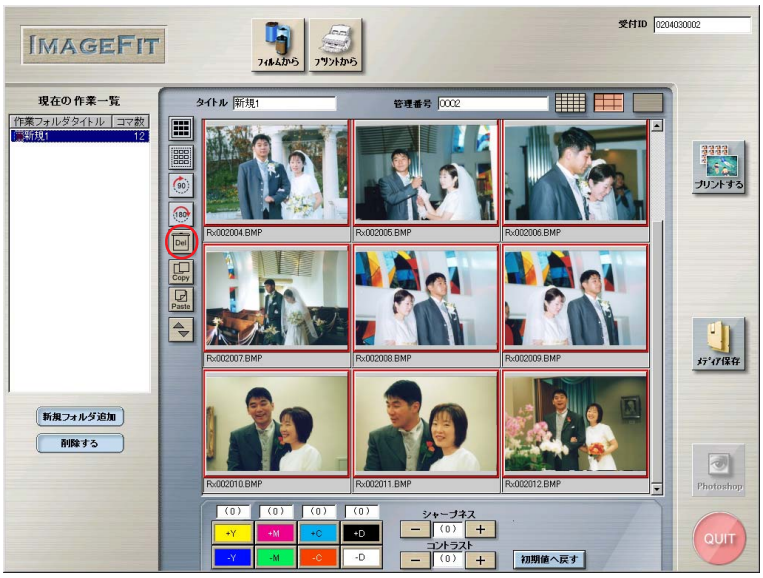
【テクニック】
画像にポインタを合わせ、右クリックをするとプルダウンメニューがでるので、[90°回転]／[180°回転]が出来ます。

6.4 画像を削除する

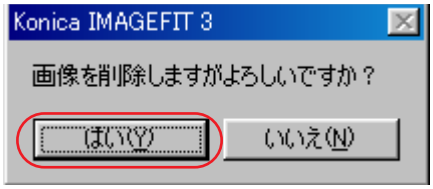
ビュアー画面で表示している画像を削除することが出来ます。

(1) 画像を選択し、削除ボタン

をクリックします。



(2) 削除確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックすると画像が削除されます。



【テクニック】
選択画像にポインタを合わせ、右クリックをするとプルダウンメニューがでるので、[削除]が出来ます。

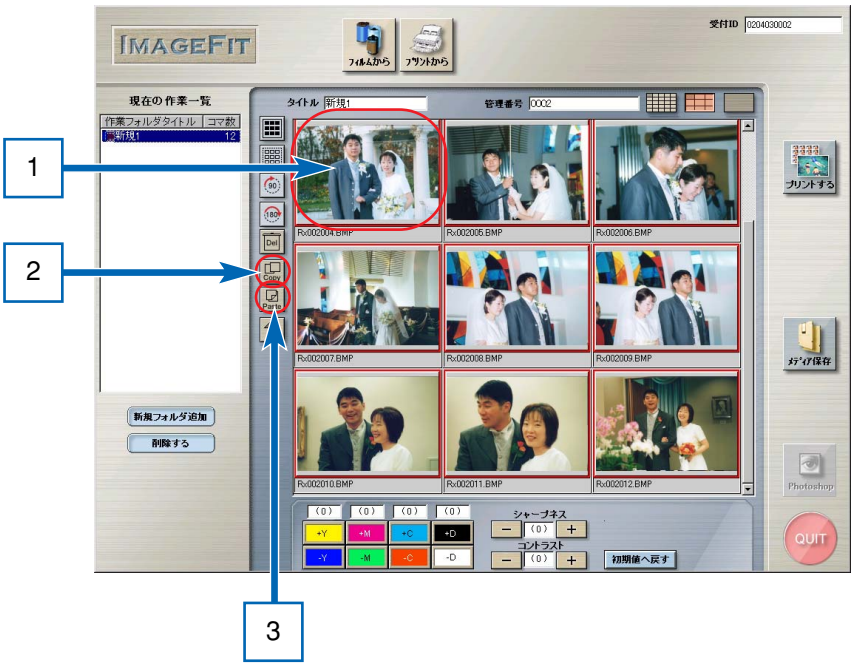
6.5 画像をコピーする

ビュアー画面で表示している画像をコピーすることが出来ます。

(1) 画像を選択して、[Copy]ボタン

をクリックし、続いて[Paste]ボタン

をクリックします。



(2) 最終駒の後に選択した画像がコピーされます。

【ポイント】
同一フォルダ内にコピーされた画像は、自動的に名前が変更されます。
同一フォルダでなければ、名前は変更されません。

6.6 画像を並び替える

ビュアー画面で表示している画像の順序を並び替えることが出来ます。

(1)　[順序並べ替えのボタン] をクリックします。

(2)　画像の並び順が逆転します。

【テクニック】マウスのドラッグ＆ドロップで１駒単位の並べ替えが出来ます。

7. 取り込んだ画像の画質調整をする

本アプリケーションでは、画像の色、濃度、シャープネス、コントラストの調整が出来ます。

7.1 色調整、濃度調整

ビュアー画面で画像を選択して、カラーマネージメントキー（＋Y、－Y、＋M，－M，＋C，－C，＋D，－D）で調整します。
複数駒に同一の調整を行う場合は、キーボード上で[Shift]キーまたは[Ctrl]キーを押しながらクリックして、画像を選択します。（赤枠付状態にします）

【ボタンの説明】

ボタン名	機　　能
＋Y／－Y ボタン	イエローバランスを±１変化させます。＊1
＋M／－Mボタン	マゼンタバランスを±１変化させます。＊1
＋C／－C ボタン	シアンバランスを±１変化させます。＊1
＋D／－D ボタン	濃度を±１変化させます。＊1
初期値へ戻す	カラー、濃度の補正をゼロに戻します。

＊1　カラーバランスは１回で１０％、濃度バランスは１回で１５％変化するよう設定されています。
　　設定を変更したい場合は、「12. その他の設定」をご参照ください。

7.2 シャープネス、コントラストの調整

選択画像に対して、シャープネス、コントラストの調整をすることが出来ます。

【シャープネス】[―／＋]ボタンでシャープネス値を±５段回変化します。
【コントラスト】[―／＋]ボタンでコントラスト値を±１０段回変化します。
【初期値へ戻す】カラー／濃度／シャープネス／コントラストの補正を全て初期値（ゼロ）に戻します。

8. 取り込んだ画像を管理する

IMAGEFIT 3 で 1 度取り込んだ画像は自動的に特定のハードディスクに保存され、[現在の作業一覧]にフォルダ単位で表示されます。
そのフォルダ毎に任意にタイトルや管理番号などをつけることが出来ます。
[注意]「メディア保存」に「保存後、自動的にファイルを消去する」にチェックがあると、その後自動的に画像が消去されますのでご注意ください。

8.1 作業フォルダの説明

取り込まれた画像はフォルダ内に納められ、タイトル／管理番号に対応して管理されています。
例えば、以下に選択されたフォルダは、「新規１」というタイトルの中に、画像が「１０個」あり、その管理番号は0001 ということになります。

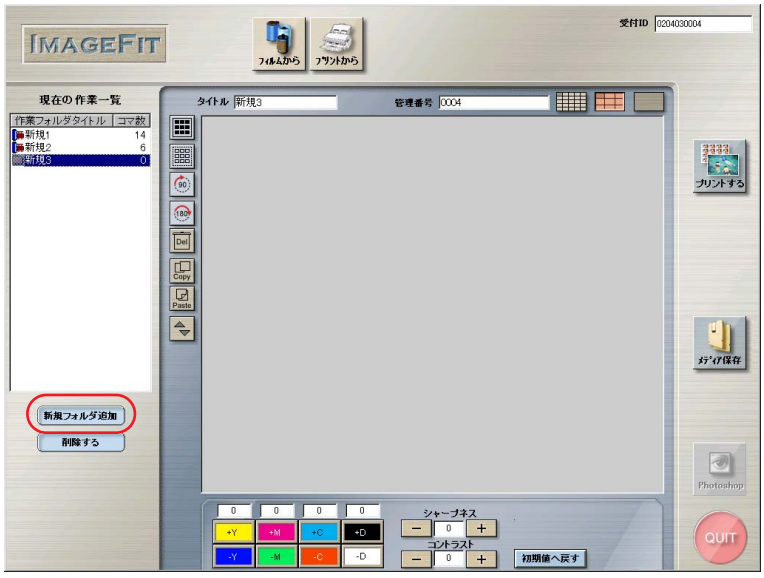
タイトル……タイトルは任意で入力出来ます。半角で256 文字（日本語で128 文字）まで入力出来ます。なにも入力しなければ「新規…」というタイトルがつけられます。
管理番号……デフォルトは、その日に受け付けた順に作成されます。
英数半角で20文字まで任意に入力することも出来ます。

【注意】漢字入力モードが設定されている場合は、設定を解除してから、半角入力します。

8.2 新規フォルダ追加する

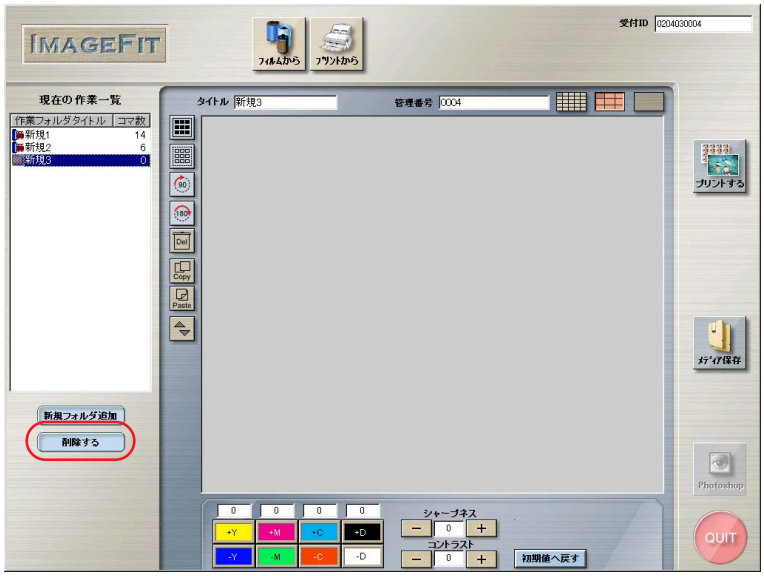
「新規フォルダ追加」ボタンをクリックすると、[現在の作業一覧]に 新規フォルダが作成されます。

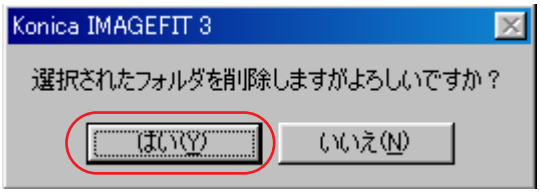
作成されたフォルダはデフォルトで「新規…」という名称で表示されます。このフォルダには画像は何も入っていません。複数のフォルダなどから複製した画像をまとめたりする時などに使用します。
また、新たに画像を取り込むこともできます。



8.3 フォルダを削除する

「削除する」ボタンをクリックすると、フォルダ内の画像をすべて削除します。一度確認のメッセージが表示されますが、「はい」をクリックして削除を行ってしまうと、復元は出来ませんのでご注意ください。





9. 取り込んだ画像をメディアに保存する

[メディア保存]ボタンをクリックすると、ビュアー画面に表示されている選択された画像を指定された他のメディアに保存します。機器が接続されている場合、例えば、お客様のコンピュータが対応していれば、MOやFD、PCカードになどに記録することが出来ます。

9.1 基本的な操作方法

(1) ビュアー画面で画像を選択して、[メディア保存]ボタンをクリックします。

(2) 以下の画面が表示されます。フォルダを選択して[保存]ボタンをクリックします。
ファイル名はビュアー画面上で表示されているファイル名で保存されます。

この時、「保存後、元のファイルを自動的に消去する」にチェックが入っている場合は、保存後に画像はすべて削除されますのでご注意ください。

9.2 ファイルの種類の変更

以下のように保存するファイルの種類を変更できます。
ファイル種類を変更するには[ファイルの種類]のリストボックスから選択します。

(1) Windows BMP形式……Windows 形式のビットマップファイルにして保存します。
(2) JPEG形式……画像をJPEG形式で圧縮して保存します。
圧縮率は「設定」ボタンをクリックすることで任意に変更できます。
(3) TIFF形式……8ビット、RGB、非圧縮のTIFF形式で保存します。
(4) PSD形式……Adobe Photoshop3.0 ファイル形式のPSD形式で保存します。
(5) PICT形式……Mac形式のPICTファイル形式で保存します。

9.3 一括でファイル名を変更したいとき

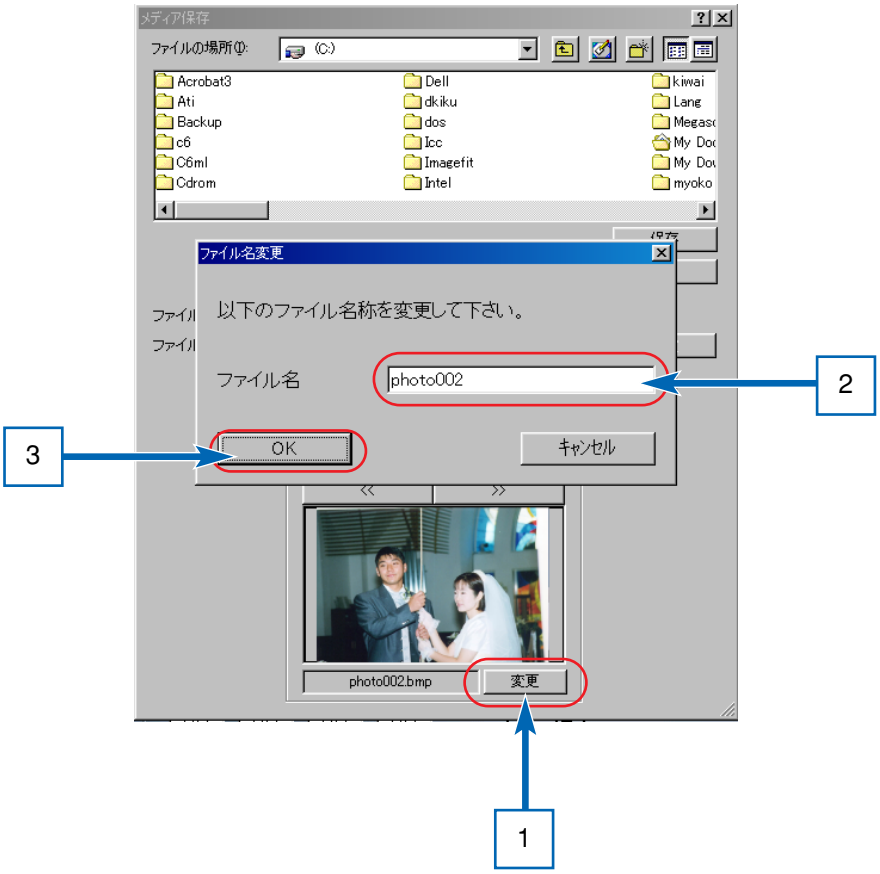
下記「ファイル名」のボックス内をクリックし、任意のファイル名を入力すると、
ファイル数だけ「ファイル名」の後ろに3桁の数字が入りファイル名が変更されます。

例えば、１０個のファイルを保存する場合は、「ファイル名」のところに「Photo」と入力すると自動的に「photo001」～「photo010」と入ります。
この時のファイル名の制限は256文字までです。

9.4 個別でファイル名を変更したいとき

下記の「変更」というボタンをクリックします。この画面で表示されている画像のファイル名を個別に変更することができます。変更したら、「OK」ボタンをクリックします。

【注意】
個別でファイル名を変更しても、その後一括でファイル名を変換してしまった場合は、それが優先されますのでご注意ください。



10. 取り込んだ画像をプリントする

本アプリケーションでは、お手持ちのコンピュータにプリンタが設定されており、プリンタドライバが正常にインストールされている状態であれば、プリント出力することができます。
但し、画像サイズ等の調整は、プリンタドライバの設定によって異なりますのでお客様自身でご調整ください。

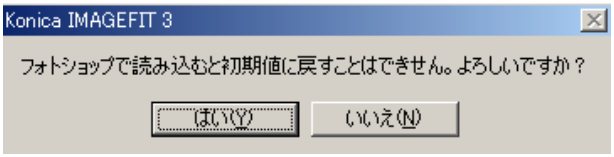
11. Photoshop で画像を加工する

本アプリケーションでは、画像をPhotoshop で加工することが出来ます。
Photoshop のバージョン5.0～6.0はCドライブにインストールされていれば、自動認識します。
その他のバージョンの場合は、「Photoshop の起動パスを設定する」に従って、設定します。

（1） Photoshop ボタンが有効で有ることを確認します。ボタンがグレー色になっているときは、Photoshop は起動しません。インストールを行ってください。

（2） ビュアー画面上で画像を選択し、[Photoshop]ボタンをクリックします。

（3） ボタンをクリックすると同時に以下のメッセージが必ず表示されます。



上記メッセージの意味は、「カラーマネージメントされている画像は、一度すべて画像処理してハードディスクに保存してしまいますので、画像変更することができない」ということです。
「はい」ボタンをクリックするとPhotoshop が起動されます。ビュアー画面上で選択された画像がPhotoshop に移行して編集が可能になります。

【注意】
例えば、Photoshop に行く前の画像のカラーの補正値を(４． ２． ０． ０)としていても、Photoshop からビュアー画面に戻ると(０， ０， ０， ０)となります。

（4） Photoshop 画面に移行しますので画像を編集します。画像編集が終了したら、全ての画像を「上書き保存」します。その後、Photoshop を終了します。

【注意】

- 複数のレイヤーがある場合は画像を統合してから上書き保存します。
- 違う場所に保存した場合は、ビュアー画面に戻ったときに画像は反映されませんのでご注意ください。

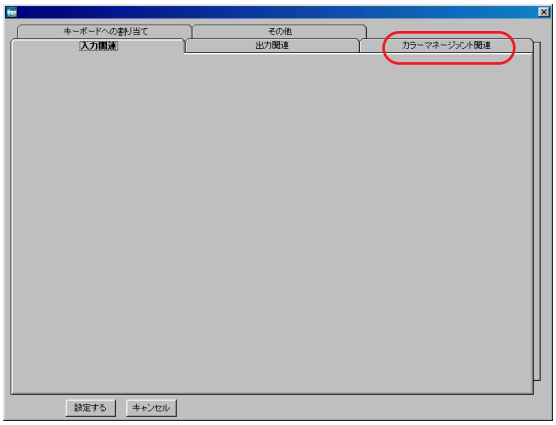
（5） Photoshop が終了するまで、しばらく時間がかかります。Photoshop が終了したら、ビュアー画面に戻ります。

12. その他の設定

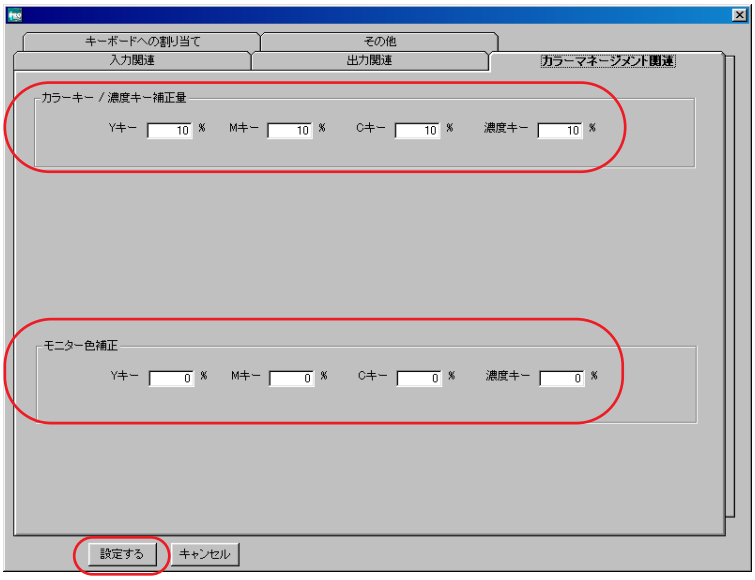
必要に応じて、以下の設定を変更することができます。
・ビュアー画面でのカラー補正率変更
・ビュアー画面でのモニター色調整
・ハードディスクチェック容量設定変更
・フォトショップ起動パス変更
それぞれ必要に応じて設定します。

12.1 ビュアー画面でのカラー補正率／モニター色調整変更

(1) ビュアー画面上（メイン画面上）でキーボードのCtrl＋Shift＋F2 を押します。以下の画面が現れますので［カラーマネージメント関連］タブをクリックします。



(2) 以下の画面が表示されますので、必要に応じて設定します。



● カラーキー／濃度キーの補正
カラーキー補正は、デフォルトでは10%、濃度キー補正はデフォルトでは１５％にセットされています。補正の動きを大きくしたり、小さくしたりする場合に変更します。

● モニター色補正
モニターに表示するカラーバランスを調整します。デフォルトは全て０％が入っていますが、必要に応じて変更してください。但し、ここで調整するとモニター上では反映されますが、プリントや画像データそのものを補正するわけでは有りませんのでご注意ください。

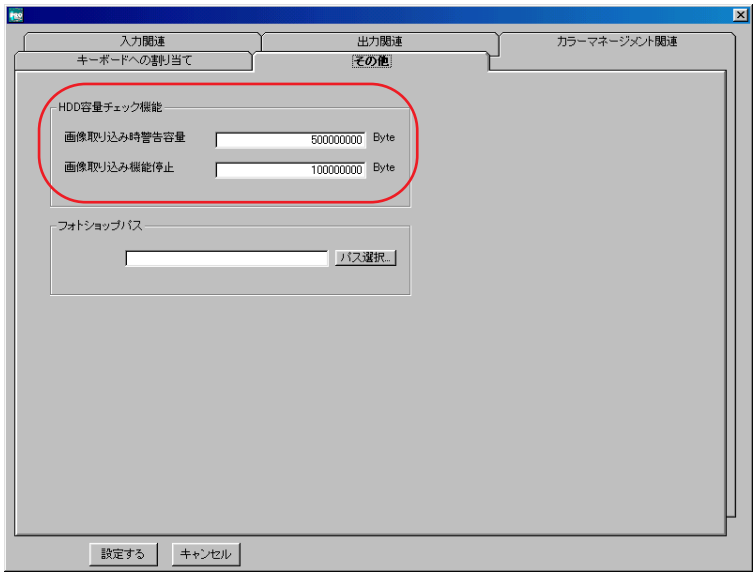
(３) 最後に[設定する]ボタンをクリックします。

(４) 本アプリケーションを再起動します。

12.2 ハードディスクチェック容量設定変更

本アプリケーションでは、プリントのボタンをクリックしたときに、毎回ハードディスクの空き容量をチェックしています。デフォルトでは、空き容量が500MB 以下となると、空き容量を広げるようなメッセージがでます。また、安全を見て100M B を切ると画像取り込み機能が停止します。
その容量を変更したい場合は、以下の値を変更します。

(１) ビュアー画面上（メイン画面上）でキーボードのCtrl＋Shift＋F2 を押します。以下の画面が現れますので［その他］タブをクリックします。



(２) 以下の項目を必要に応じて設定します。
画像取り込み時警告容量.....100000000 (10 MB) ～ 9999999999 (9.9 GB)まで入力できます。
取り込み時警告容量.....1 (1 Byte) ～ 100000000 (10 MB)まで入力できます。

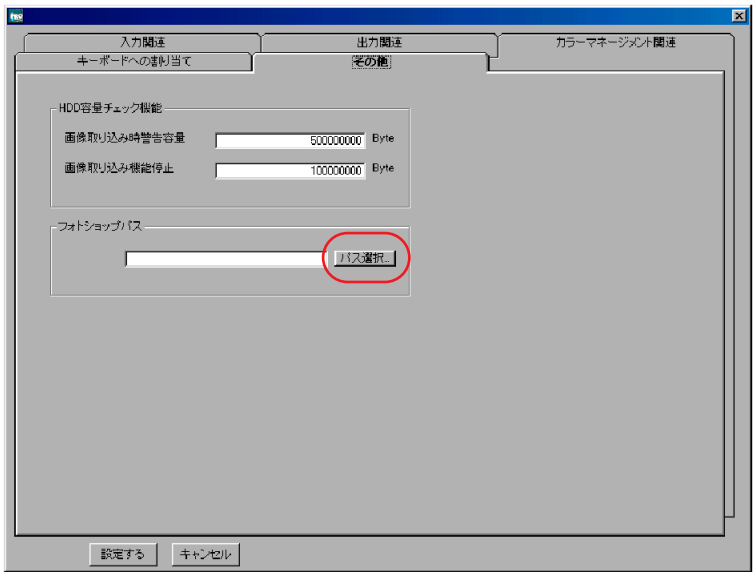
(３) 入力が終わったら[設定する]ボタンをクリックします。

(４) 本アプリケーションを再起動します。

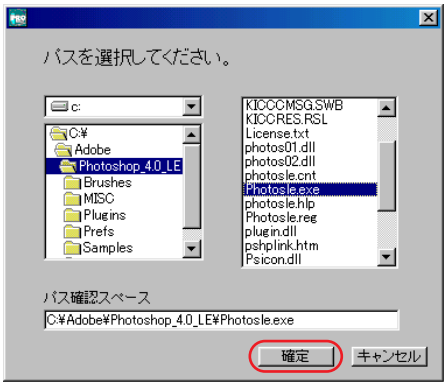
12.3 フォトショップ起動パス変更

Photoshop のバージョン5.0～6.0はＣドライブにインストールされていれば、自動認識します。
その他のバージョンの場合は、以下の手順に従い、起動パスを指定します。

(1) ビュアー画面上（メイン画面上）でキーボードのCtrl＋Shift＋F2 を押します。
以下の画面が現れますので［その他］タブをクリックします。



(2) 上記で示すフォトショップパスの[パス選択]ボタンをクリックします。
以下のような画面が出ますので、Photoshopのメインプログラム(通常拡張子が.exe のもの)を選択し、[確定]ボタンをクリックします。



(3) 入力が終わったら[設定する]ボタンをクリックします。

(4) 本アプリケーションを再起動します。

13. トラブル対応

トラブルに対する対処方法について説明します。

(A) 画像の中に「Now loaling･･･」が表示されているときの対処方法

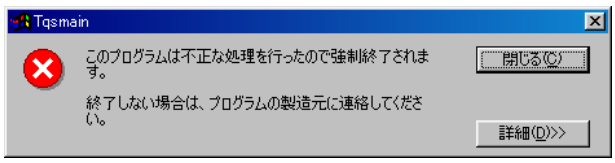
画像の表示途中に、素早く[表示切り替え]ボタン、[入力関連]のボタンをクリックしたりすると、以下のような状態になります。この場合、以下のいずれかの操作で再表示されます。

・[現在の作業一覧]リスト枠(白い部分)を１度クリックしてから、フォルダタイトル部を1回クリックする。
・他のフォルダを1回クリックして元に戻る。
・[新規フォルダ追加]ボタンをクリックして、元に戻る。

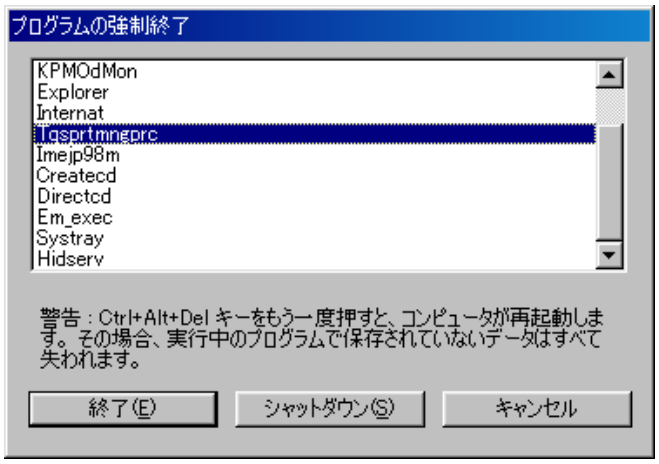
（B）アプリケーションが強制終了した場合の対処方法

何かが原因で、アプリケーションが強制終了した場合に対処する方法です。以下の手順に従って再起動してください。

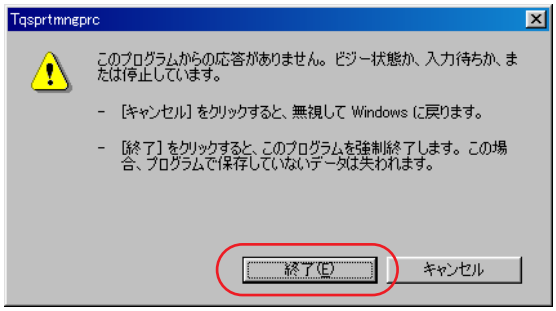
① 以下のようなメッセージがある場合は、「閉じる」等をクリックして、メッセージを消します。
何度やっても消えない場合は、②へ進みコンピュータをシャットダウンします。



② 次に「Ctrl」を押しながら、「Alt」、「Del」キーを同時に押します。以下のような画面が表れます。
ここで、[Tqsprtmngprc]というプログラムをクリックして、「終了」ボタンをクリックします。



③ しばらく待つと以下のようなメッセージが表れます。ここで、[終了]ボタンをクリックします。



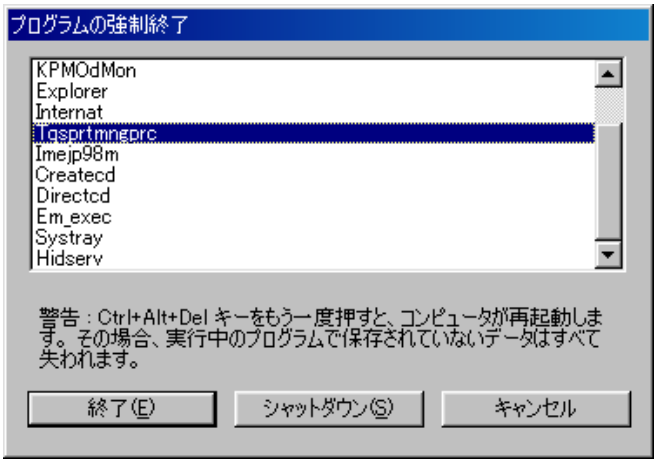
④ これで、正常に終了しました。アプリケーションを再起動します。

【注意】
アプリケーションが強制終了したときに使用していた画像はすべて削除してください。正常なプリントや保存が出来ない可能性があります。

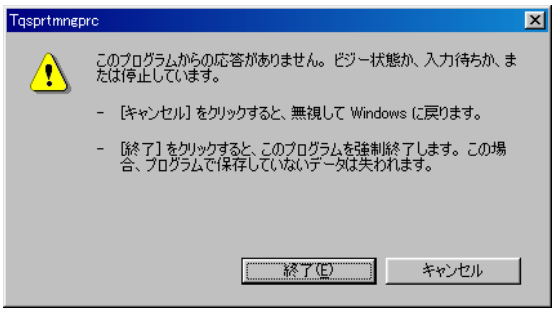
(C) アプリケーションがフリーズした場合の対処方法

何かが原因で、アプリケーションがフリーズした場合に対処する方法です。以下の手順に従って再起動してください。

①「Ctrl」を押しながら、「Alt」、「Del」キーを同時に押します。以下のような画面が表れます。
ここで、[TQSMain]と[Tqsprtmngprc]というプログラムをクリックして、「終了」ボタンをクリックします。[TQSMain 応答なし]という場合もあります。



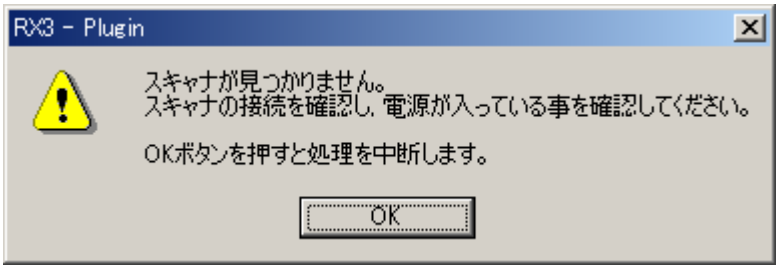
② しばらく待つと以下のようなメッセージが表れます。ここで、[終了]ボタンをクリックします。



③ これで、正常に終了しました。アプリケーションを再起動します。

（D）RX-3 スキャナ検出できない場合

「プレスキャン」ボタンをクリックした場合以下のようなエラーメッセージが出ることがあります。
以下の 2 つの現象で対処方法が異なります。
それぞれに応じた対処を行い、再度、操作を行ってください。



(1) コンピュータ(BIOS)がRX-3を認識できていない場合

- RX-3の電源が入っていない可能性があります。
  電源をONにしてからコンピュータを再起動します。

- SCSIケーブルが抜けている、または断線している可能性があります。
  正しく差し直すかケーブルを変更してください。

- SCSIボードが抜けかかっているか、故障している可能性があります。
  その場合、SCSIボードを変更してください。

- SCSIケーブルが長過ぎるか、またはターミネートできていない可能性があります。
  ケーブル長を短くするか(1m以下)、オートターミネートをONにしてください。

- 他のSCSI接続機器との相性で認識できない可能性があります。
  他の接続機器を外し、RX-3だけを接続してください。

- SCSIケーブル長がトータルで3mを超えている可能性があります。
  SCSIボードを増設し、SCSIケーブル長がトータルで3m以内になるようにしてください。

(2) コンピュータ(BIOS)は認識しているのに、エラーメッセージが出る場合

- SCSIボードがRX-3に対応していない可能性があります。
  再度「1.1 動作環境」を確認し、対応しているSCSIボードであるか確認してください。

- SCSIボードのドライバが正しくインストールされていない可能性があります。
  最新版のドライバを入手し、ドライバを正しくインストールしてください。

14. 制限事項について

本アプリケーションでの制限事項について説明します。

機　能	項　目	制限事項
ビュアー画面	1 日の受付オーダー数 1 日の出力オーダー数 1 フォルダに取り込める画像数 1 画像の容量 タイトル欄の入力数 管理番号	9999 回 ※1 999 回 ※1 メッセージがでるまで(最大300 ファイル) ※3 BMP 換算で最大100MB 英数字で256 文字、日本語で128 文字 英数半角のみ20 文字
プリントから	1 回に取り込める画像数 1 日に取り込めるオーダー数 1 回にセットできるプリント枚数	999 枚 999 回 ※1 ２０枚
メディア保存	ハードディスクの空き容量	1GB以下で警告メッセージ １００MB 以下で機能停止
Photoshop リンク	自動認識できるバージョン	Adobe Photoshop 5.0～6.0 ※2

※1： この回数を超えた場合、オーダー名が重複することがあります。

※2： Photoshop 6.0 以降またはLight Edition またはElement については、個別で設定していただく必要があります。

15. 保守点検

● RX-3の清掃方法、および消耗品交換方法につきましてはRX-3の取扱説明書に従って作業してください。

Konica
コニカ株式会社
〒163-0512 東京都新宿区西新宿1-26-2

ORDER NO.

2740 YA141A

©KONICA CORPORATION

Printed in Japan 0204000-HA
Apr. 2002-A

製品の外観は予告なく変更することがあります。